

唯信鈔文意略述

特36

810

220
98

019205-000-3

特36-810

唯信鈔文意略述

吉谷 覺寿 / 著

M36.8

ABF-2796



講師吉谷覺壽撰

唯信鈔文意略述

京都書林 西村護法館發行

特36
810

唯信鈔文意略述

講師 一乘院覺壽



謹ニテ按スルニ此唯信鈔文意ハ吾祖大師ノ直撰ニシテ聖德太子ノ唯信鈔ニ引キタメテ解釋ノ要文ヲ解釋シテ黒谷聖人ヨリ傳承シタマフトコロノ念佛往生ノ正意ハ唯信心ニツニキハマルコトヲ明シタマハリ爾レハ宗義ヲ詳ニセント欲スル者ハ之ヲ學ハスハアルヘカラス

今將釋此唯信鈔開四門 一者興由 二者大意 三者釋題 四

者本文 一者興由トハ此中通別ノ二義アリ 初二通ノ興由ハ三經文類畧述ノ如シ 次三別ノ興由トハ此唯信文意ハ何ノ為ニ之ヲ造リタマフヤ謂ク為被邪顯正故ニ之ヲ作リタマハリ其故ハモト所釋ノ唯信鈔ハ種々ノ邪執ヲ破斥シテ念佛往生ノ正義ヲ顯ハサシ方為ノ製作ナレトモ是ハ唯信鈔ニ就テ辨スヘシ今正シク此文意ニ就テ破邪顯正ノ趣キヲ辨セハ御消息集ヲ按

唯信鈔文意略述

護法館發行

スルニツノヤウハ唯信鈔ニクハシクサフヲフヨクノ御覽サフヲフヘシト云
 御言度々アリ是ハ吾祖御年六十歳御歸洛ノ後關東ノ御門弟ニ對シテ
 示サセラレタルトコロニテ其御消息ノ趣キ一念ニカタヨリ多念ニカタヨ
 リ念佛往生ノ本意ヲ知ラサル邪執ヲ誠メ念佛ノ遍數ニヨラス念佛往
 生ト深ク信シテ名號ヲ称フルコソ念佛往生ノ正意ナリト顯シタマフ此
 義ヲ心易ク知ラセンカ為ニ此文意ヲ作りタマヘリ既ニ聖覺法印ハ唯信
 鈔ニ經釋ノ文ヲ引クトイヘトモ委シク之ヲ釋セス故ニ此奥書ニモ
 アル如ク井ナカノヒトノ文字ノコロモシラヌ愚癡ノ者ニヤスクコ、
 ロエサセントテ文ノ意ヲ委シク釋シ而モ一家ノ要義ヲ明カニ知ラシメ
 タマフ爾レハ破邪顯正ノ為ニ此文意ヲ作りタマフト云コト得テ知ルヘキ
 モノナリ 一者大意トハ此唯信文意ノ一部始終ニ明ストコロノ所詮ノ義
 理ヲ談括スレハ念佛ノ要義ヲ明スヲ以テ大意トス其念佛ノ要義トハ題號

ニ顯レタルカ如ク涅槃ノ真目ハ唯信心一ツニアルコトヲ示スヨリ外ナレ此
 義吾祖ノ私ニ非ス黒谷相承ノ法門ナリ其故ハ元祖浄土ノ一宗ヲ興行
 シタマフニ付キ選擇本願念佛集往生之業念佛為本ト標シテ下ラ念佛行
 者必可具三心トノタマヒ和燈七^初念佛往生ト申事ハ彌陀ノ本願ニ我名
 號ヲ唱ヘン者乃^至此誓ヲ深ク信シテ乃至一念モ疑ハサル者ハ十人ハ十人
 ナカラ生レ百人ハ百人ナカラ生ル念佛ヲ修スト云ヘトモ疑フ心有ル者ハ
 生レサル也トアリ是念佛往生トイヘハトテ能称ノ功ニ由リテ往生スルニ
 非ス念佛往生ト深ク信シテ称フルヲ以テ黒谷相承ノ念佛往生ノ要義
 トス之ヲ傳ヘタル安居院ノ唯信鈔コノ意ヲ明カナラ令ルカ吾祖ノ文意ナ
 リ此趣キヲ文段ニ就テ辨セハ先所釋ノ唯信鈔ハ念佛ノ要義ヲ明スニ付
 キ選擇集一部ヲ撮略シテ之ヲ明シタマフ即チ唯信鈔ハ教相章ト二行
 章ト本願章ト三心章ト此四章ニ攝シテ明セル趣キ文ニ就テ知ルヘシ

今且ク此文意ノ釋ニ就テ辨セハ諸文ヲ引キタマヘトモ之ヲ攝束スレハ
 五段トナルニ如來尊號甚分明ノ文ハ十七願ノ意ニ彼佛曰中
 立弘誓ノ文ハ十八願ノ意ニ極樂无為涅槃界ノ文ハ專雜ノ得失ヲ
 明レ一行一心ヲ專ラニスヘシト是モ十八願ノ意ナリ四三具三心者ノ
 文ハ往生ノ正目ハ信心ニアルコトヲ示ス五三乃至十念ノ文ハ三心既具
 無行不成トアル文ノ意亦真實信心必具名號トアル文ノ意ナリ爾レ
 ハ五段ノ大意ハ念佛往生ノ本願ヲ深ク信シテ名號ヲ称フルヨリ外
 ナレ故ニ信心ヲ以テ念佛ノ要義トスルコト是ヲ以テ知ルヘキモノナリ
 唯信鈔文意 三者釋題トハ先此五字ノ題號ヲ離釋セハ唯信鈔ノ三字ハ
 所釋ノ書名文意ノ二字ハ能釋ノ書目ナリ然ルニ唯信鈔ノ三字ハ吾祖
 委シク釋シタマヘハ文ニ就テ辨スヘシ 文意トハ唯信鈔ノ中ニ引クト
 コロノ文ノ意ヲ釋スルト云コトニテ經釋ノ文其義幽玄ナレハ誤リナキ

ヤウ其義意ヲ明カニ示シタマフカ故ニ文意ト題シタマフナリ 後ニ此
 五字ノ題號ヲ合釋セハ唯信之鈔ト唯信鈔之文意ト兩重ノ依主釋ア
 リト知ルヘシ

唯信鈔トイフハ 四者本文ニ 第一正文ニ 初別釋正文ニ 初解題
 號ニ 初別釋ニ 初標 コノ唯信ノ言ハ散善義^四第五深信ノ文ニ
 仰願一切行者等一心唯信佛語不顧身命等トアリ此佛語トハ三部經ノ
 釋迦佛ノ語ニシテ此中彌陀釋迦諸佛ノ三佛ノ語ヲ含メリ此唯信佛語
 トハ詮スルトコロ彌陀ノ本願ヲ信スルヨリ外ナレ尚此唯信ノ相ハ次ノ
 段ニテ知ルヘシ

唯ハタハコノコトヒトツトイフフタツナラフコトヲキラフコトハナリマタ唯ハ
 ヒトリトイフコトナリ 二釋ニ 初釋唯信ニ 初別釋ニ 初唯字 是ハ唯信ノ
 二字ノ中先唯ノ字ヲ釋スルニ二義アリ此唯ノ字ノ釋例ハ二十述

記上^帝唯者獨但簡別之義トアリ今ノ二義ノ中唯ハタノコトヒトツ
 トイフ等トハ簡別ニ當リマタ唯ハヒトリトイフコトハ獨但ニ當ル又初義
 ハ唯ヲ一ノ義ニ約シ後義ハ獨ノ義ニ約ス又初義ハ能信ニ約シ後義ハ所信
 ニ約スト知ルヘシ 初ニ唯ハタノコトヒトツトイフトハ淨土往生ノ正回ハ
 唯此信心一ツト云コトナリフタツナラフコトヲキラフトハ諸佛菩薩餘行
 餘善ヲ並ヘテ往生ノ回ト擬スルヲ嫌段スルト云コトナリ マタ唯ハヒトリ
 トイフコトハ入ニ約スレハ彌陀一佛法ニ約スレハ念佛ノ一法ニシテ餘佛
 ヲ簡シテ彌陀一佛餘行ヲ簡シテ念佛ノ一法ヲ信スヘシト云意ナリ是即チ
 一向專修ノ相ニシテ一多證文^{六一}一向ハ餘ノ善ニウツラス餘ノ佛ヲ念セス
 專修ハ本願ノミナヲフタコノコトクモハラ修スルナリトアル意ナリ
 信ハウタカフコトナキナリ 二信字三 初釋義 是ハ信心ノ名義ヲ釋スル
 二法ニ約スレハマコトノコト口機ニ約スレハ疑ヒナク信スルコトナリ今ハ機

ニ約スルノ釋ヲ出シタマヘリ

スナハチコレ真實ノ信心ナリ 一 出躰二 初正明 是ハ疑ヒナク信スル信
 心ハ凡夫自力ノ信ニ非ス其躰ヲ云ヘハ彌陀他力ノ真實信心ナリト示シタ
 マフ此真實ノ信心ト云言ハ禮讚^帝觀經ノ深心ヲ釋シテ即是真實信心ト
 アリコトノ真實信心トハ回願ノ至心信深觀經ノ至誠心深心ノ隱彰ノ實
 義ナリコレ他力廻向ノ信心ナルコトヲ顯ス名目ナリ

虛假ハナレタルコトナリ虚ハムナレトイフ假ハカリナリトイフ虚ハ實ナラヌ
 ヲイフ假ハ真ナラヌヲイフナリ 二釋成 是ハ真實信心ト云散善義^三至

誠心釋ニ不得外現賢善精進之相内懷虚假トアリ之ヲ選擇集本^{四十}
 ニ釋シタマヘリ 虚ハムナレトイフ等トハ虚假ノ二字ヲ釋ス愚禿鈔下

二十内虚外實内假外真トアリテ定散諸行ノ人ハ外ニ賢善精進ノ相ヲ現
 スレトモ内ニ貪瞋邪偽名利ノ心ノミナレハ雜毒虚假ノ行ト名ケテ真實

ノ業ト名ケス是凡夫ノ自性ナリ此凡夫ノ為ニ阿彌陀佛永劫ノ間三業ニ
眞實ノ行ヲ修シ之ヲ名號ニ稱ステ衆生ニ廻施シタマフ故ニ此如來ノ眞實
ヲ獲得シテ疑ヒナキヲ眞實ノ信心ト名クルナリ尚此虛假ノ相ハ唯信鈔
十
六
ノ文意^{二十}委レキ釋アリ

本願他カヲタノミテ自カヲスツルヲイフナリ 三願相 是ハ他カノ信相ヲ
示ス言ナリ本願他カトハ論註上^初難行道ノ修シ難キコトヲ明スニ五難
アル中第五ニ自力无他カ持ト又下卷ノ終ニ易行道ノ利益ノ速ナル證
據ニ三願ヲ引キ其結文ニ以斯而推他カ為増上縁トアリ是ヲ經論ニ求
ムレハ大經ニハ其佛本願カト易行品ニハ彼佛本願カト淨土論ニ觀佛本
願カトアリ行卷ニハ言他カ者如來本願カ也ト釋シタマフ此本願他カトハ
正シクハ第十八願ナリ其他カノ相ハ安樂集上^{二十}何者他カ等ト廣ク明
シテアリ タノミトハ歸命ノ歸ノ字ナリコレヲ信ノ字ニ當テ、釋名出

体トモニ同一トスルハ不可ナリ固ヨリ信歸トモニ其體同一ナルコトハ勿
論ナレトモ其名義ヲ云ハハ差別アリ信トハ所信ノ法ニ疑ヒナキコト歸ト
ハ所歸ノ法ヲカラニスルコトナリ故ニタノムト云ハカラニスルコトヨリ
タノミヨリカ、ルコトナリ此タノム相ヲ委レクイヘハ阿彌陀如來後生
ノ一大事ヲタスケタマヘト思フコ、ロナリ 自カヲスツルヲイフトハ雜
行雜修自カヲスツルコトナリ スツルトハ廢捨ノ義ニテ取上ヌコト目
カケヌコトナリ御支ニハフリステ、トモナケステ、トモアルハ捨ツルコト
ヲ強ク知ラセシカ為ナリ之ニ付キ自カヲステ、彌陀ヲタノムト云カ當
流ノ常教ナルニ今本願他カヲタノミテ自カヲスツルト前後シタマフ
如何ト云ニ是ハタノムトスツルトハ一念同時ニシテ前後ナキコトヲ知ラ
シメタマフ意ナリ然レハ其一念トハ何レノ時ナリヤト云ニ名號ノ謂レヲ聞
キ聞ク一念カ自カヲステ、他カヲタノム時其他カヲタノム時カ自

カラスツル時ニテ更ニ前後ナレト知ルヘシ

コレヲ唯信トイフ 一總結 上ニ別シテ唯信ノ二字ヲ釋シ今總シテ唯信ノ

二字ヲ結ビタマフナリ

鈔ハスクレタルコトヲヌキイタシアツムルコトハナリ 一釋鈔字 此釋例ハ

行事鈔資持記上一之一鈔者有二義一採摘要二包攝義撮要正文即

初義也包攝諸意即次義也トアリ スクレタルコトヲヌキイタシトハ初義

ナリアツムルトハ後義ナリ是ハ唯信鈔一部ノ中ニ經釋ノ要文ヲ拔出シ

其要文ノ中へ多義ヲ含攝スルカ故ニ鈔ト名クルナリ

コノユヘニ唯信鈔トイフナリ 三結

一タ唯信ハコレ他カノ信心ノホカニ餘ノコトナラハストナリスナハチ本弘誓願

ナルカユヘナレハナリ 一重釋 上ハ別シテ唯信鈔ノ三字ヲ釋シ今ハ重子

テ唯信ノ二字ヲ釋シタマフ然ルニ上ノ唯ノ字ニ義アル中初義ト同シキニ

似タリ何ナル差別アリヤト云ニ上ハ正シク行者ノ信心ニ約シテ往生ノ

正目ハ唯信心ナルコトヲ顯シタマヒ今ハ彌陀ノ本願ニ約シテ往生ノ正目

ハ唯信心ナル由ヲ示シタマフ是ハ他流ノ三心非本願ト立ルニ異ナリテ

信卷ニハ第十八願ヲ本願三心之願至心信樂之願往相信心之願ト名

ケタマヒテ行者ノ信心ハ自力ノ所發トハ思フヘカラス全ク如來ノ本願也

故ニ此他力廻向ノ唯信ニテ往生ヲ得ルト成シタマフ意ナリ スナハチ

トハ即ノ字ニテ他力信心ノ當躰ヲ指ス 本弘誓願トハ禮讚帝ニ出

ル言ニテ四十八願ヲ全フシタル第十八願ノコトナリ

如來尊號甚分明 十方世界普流行 但有稱名皆得往 觀音勢至自來

迎 二明文意五 初解法照禪師釋三 初出文 此文意大科五段ト分

ル、趣キ上ニ辨シタルカ如シ此文ハ五會法事讚本三ニ出テ、玄奘譯

ノ阿彌陀經異譯タル稱讚淨土經ニ依リテ造レルトコロノ淨土樂ノ讚文

十九首アリ其中ノ第九首ニテ行卷ニ引キタマヘリ此四句ノ文直チニ之ヲ見レハ初ノ二句ハ十七願ノ意後ノ二句ハ十八願ノ意ナレハ既ニ唯信鈔三十七願ノ意トシテ引キテアリコレ所讚ノ十八願ヲ能讚ノ十七願ニ属スル意ナリ之ヲ吾祖行卷ニ引キタマフハ信ニ離レサル行ヲ明ス文トスル意ナリ文ノ意ハ次ニ委シキ釋アリ

如來尊號甚分明ヲコトシ如來トマフスハ无専光如來ナリ尊號トイフハ南无阿彌陀佛ナリ尊ハタフトクスケタリトナリ號ハ佛ニナリタマフテノチノ御名ヲマフス名ハイマタ佛ニナリタマハヌトキノ御名ヲマフスナリコノ如來ノ尊號ハ不可稱不可說不可思議ニシマスユヘニ一切衆生ヲシテ无上大般涅槃ニイタラシメタマフ大慈大悲ノチカヒノ御名ナリコノ佛ノ御名ハヨロツノ如來ノ名號ニスクレタマヘリコレスナハチ誓願ナルカユヘナリ 二述意三 初正釋偈文四 初釋第一句ニ 初釋如來尊號 如來トマフスハ无専光如來等

トハ如來ト尊號トヲ離釋シタマフ如來トハ能成ノ人ナリ尊號トハ所成ノ法ナリ御文ニ阿彌陀如來御辛勞アリテ南无阿彌陀佛トイフ本願ヲタテマシクテトアル是ナリ 尊ハタフトクスケタリトハ彌陀ノ名號ニハ萬善萬行ヲ具足シテ諸佛ノ名號ニ超過セリ故ニ尊號ト云フ廣韻ニ尊ハ貴也トアリ 號ハ佛ニナリタマフテ等トハ名號ニ二字ヲ曰果ニ分ケテ示シタマフ正像未和讚ノ終リ併セ見ルヘシ然ルニ曰位ノ名ハ法藏ニシテ果位ノ名ハ彌陀トスルハ不可ナリ是ハ一ノ阿彌陀ト云名ナレトモ曰位ノ時ヨリ云ト果上ノ時ヨリ云トノ異アリト云フト示シタマフ此名號ノ二字ヲ曰果ニ分ツ例ハ探玄記四節初名謂釋迦等別名號謂諸佛通名又召跡為名標德為號又亦名號無別トアリ此釋三義アリ其中第二義ヲ今ノ正所用トス名ト云ハハ自跡ヲ呼ビ頭ニ號ト云ハハ其德ヲ呼ビ頭ス周禮ノ註ニ號謂尊其名更為美稱トアリ今阿彌陀ト云名モ曰位

ヨリ云へハ我ニ成佛セハ阿彌陀ト名クヘシト自躬ヲ呼ビ頭スハカリ果上
 ヨリ云へハ萬德ヲ具スルカ故ニ號ト云フ是ハ經文ノ上ニ説キ分ケテアリ
 第十七願ニハ稱我名者トアリ成就ヲ説クニハ是故無量壽佛號無量光
 佛等トアリ知ルヘシ コノ如來ノ尊號等トハ上ハ尊號ノ名義ヲ示シ是
 ハ尊號ノ徳用ヲ示シタマフ此尊號ニハ不可稱不可説不可思議ノ功徳利
 益ヲ具足セリ不可稱トハ稱ハ稱量ノ義又稱讚ノ義ナリ天台ノ金剛經疏
 三十三算數不該不可稱量アリ爾六算數ノ及ハサルヲ不可稱ト云フ言ヲ以テ
 説クヘカラサルヲ不可説ト云フ不可思議トハ總シテ心モ言モ及ハサルコト
 ナリ之ヲ大經ニハ一念大無上功徳ト説キ論ニハ能令速滿足功徳大寰
 海トアリ 一切衆生ヲシテ无上大般涅槃ニイタラシメタマフトハ无上大
 利ノ相ナリ大般涅槃ヲ得ルニ過キタル大利ハナキナリ 大慈大悲ノチ
 カヒノ御名トハ名號ヲ以テ衆生ヲ攝化セントアル大慈悲ノ本願ナリ

拔苦與樂ヲ慈悲ト名ク拔苦與樂ノ至極ハ无上涅槃ヲ證セシメタマフニ
 アリ コノ佛ノ御名ハ等トハ彌陀ノ名號ノ諸佛ノ名號ニ勝ルハ起世
 不共ノ別願アルカ故ナリ元照ノ阿彌陀經ノ疏ニ況我彌陀以名攝物是
 以耳聞口誦無邊聖徳攝入識心永為佛種頓除億劫重罪獲證无上菩提
 トアルモ此意ナリ此文行卷御引用ナリ其義知ルヘシ

甚分明トイフハ甚ハハナハタトイフスケレタリトイフコトナリ分ハワカツト
 イフヨロツノ衆生トワカツコトナリ明ハアキラカナリトイフト方一切衆生
 フコトノクワカチタスケミナヒキタマフコトスケレタマヘリトナリ 二釋甚分
 明 是ハ字訓ヲ以テ宗義ヲ示シタマフ 甚ハ名號ノ利益ノ甚深最勝
 ノ義トノタマフ 分ハワカツトイフ等トハ分ハ分別ノ義ニテ差別スルコト
 ナリ ヨロツノ衆生トワカツトハ定散諸行ノ人ト弘願念佛ノ人トヲ差別
 シテ念佛ノ衆生ヲ攝取シタマフコトナリ 明ハアキラカトイフトハ

衆生ヲ觀見シタマフコト明クナルコトナリ 十方一切衆生ヲ寺トハハ
甚分明ノ三字ヲ離釋シ今ハ合釋シタマヘリ是ハ十方微塵世界ノ念
佛ノ衆生ヲミソナハニ攝取シテステサレハ阿彌陀トナツケタマツル
トアル意ナリ

十方世界普流行トイフハ普ハアマ子クヒロクキハナシトイフ流行ハ十方微
塵世界ニアマ子クヒロクテ佛教ヲスメ行セシメタマフナリ 一釋第二
句ニ 初別釋文句 普ハアマ子ク寺トハ法界ニ周遍スルコトナリ
流行トハ彌陀ノ本願ノ十方世界ニ流布シテ衆生ニ勸メテ修行セシム
ルコト、シタマフ 佛教トハ總即別名ニテ念佛ノ一法ヲ指シテ佛教ト
ノタマフナリ

シカレハ大乘ノ聖人小乘ノ聖人善人惡人一切ノ凡夫ミナトモニ自カノ智
慧ヲモテハ大涅槃ニイタルコトナケレハ无身光佛ノ御カタチハ智慧ノヒカリ

ニテミシエヌヘニコノ如來ノ智願海ニス、メイレタマフナリ一切諸佛ノ智慧ヲ
アツメタマヘル御カタチナリ光明ハ智慧ナリトシルヘシ 一總述文意 是ハ正
シク十七願ノ相ヲ示シタマフ彌陀因位ニ我成佛セハ諸佛ニ我名號ヲ稱嘆
セラレント誓ヒタマヘルカ故ニ此願ニ酬報シテ十方諸佛之ヲ讚嘆シテ智
願海ニ勸メ入ラ令ルナリ シカレハトハ上ノ十方世界普流行ヲ承ケテ
其義ヲ成スルナリ 大乘ノ聖人等トハ普ク五乘ノ機類自カニテハ涅槃
ニ至ルコト能ハス彌陀ノ願海ニ歸スヘキコトヲ顯ス是ハ玄義分十問曰彼
佛及土既言報者報法高妙小聖難階垢障凡夫云何得入答曰若論衆生
垢障實難欣趣正由託佛願以作強緣致使五乘齊入トアル文ノ意ニテ之ヲ
此下^四ニ自カノコ、ロヲスツトイフハヤウクサマノクノ大小ノ聖人善惡ノ
凡夫乃至无上大涅槃ニイタルナリト委シク示シタマヘリ 大乘ノ聖人
トハ初地以上小乘ノ聖人トハ初果以上ナリ 自カノ智慧ヲモテハ大涅槃

ニイタルコトナケレハトハ此下^六ニ引キタマヘル極樂無為涅槃界隨緣雜
 善惡難生ノ意ナリコレ凡夫ノ智慧ヲ以テハ涅槃ニ至ルコト能ハサルカ故
 ニ彌陀ノ智願海ニ歸セシメタマフナリ 无等光佛ノ御カタチハ智慧
 ヒカリニテ^一シメストハ^一多證文^二ニ^十コノ如來ハ光明ナリトアルニ同シ
 如來ノ智願海トハ禮讚^一彌陀智願海トアリ回位ヨリ云ハ本願海果
 上ヨリ云ハハ智慧海ナリ合セテ智願海ト名クルナリ 一切諸佛ノ智慧
 ヲアツメタマヘル御カタチトハ万川ノ水集マリテ大海トナルカ如ク諸佛
 ノ智慧ノ集マリタルカ阿彌陀佛ナリ淨土讚智慧光佛ノ草本ノ左訓^二
 一サイノレヨフチノキエヲアツメタマヘルユヘニチエクワウトマウストアリ
 是ハ大經智慧段ノ彌陀ノ五智ハ一切諸佛ノ智慧ヲ全フシタル智慧ナリ
 故ニ諸佛无上智慧トアリ其義知ルヘシ
 但有稱名皆得往トイフハ但有ハヒトヘニミナフトナフルヒトノミミナ極樂淨

土ニ往生ストナリカルカユヘニ稱名皆得往トノタマヘルナリ 三釋第三句

是ハ上ノ十七願ノ讚勸ニヨリ十方衆生餘行ヲ捨テ念佛ノ一行ニテ淨

土ニ往生スル十八願ノ相ナリ此一句ハ銘文末^四ニ引クトコロノ但有專

念ノ文ト同意ニテ彼ハ信ニ約シ此ハ行ニ約スルノミ行信不離ナリ

ヒトヘニミナフトナフルトハ定散ノ諸行ヲステ念佛ノ一法ヲ以テ往

生ノ回トスル廢立ノ正意ヲ示シタマフナリ

觀音勢至自來迎トイフハコノ不可思議ノ智慧光佛ノミナヲ信受シテ憶念

スレハ觀音勢至ハカナラスカケノカタチニソヘルカコトクナリコノ无等光佛ハ

觀音トアハレ勢至トシメスアル終ニハ觀音ヲ寶應聲菩薩トナツケテ日天

子トシメスコレハヨソツノ衆生ノ无明黑闇ヲアラハシム勢至ヲ寶吉祥菩薩ト

ナツケテ月天子トアラハレ生死ノ長夜ヲテラシテ智慧ヲヒカラシムナリ

四釋第四句一 初釋上四字 是ヨリ觀音勢至自來迎ノ一句ヲ第十八

願ノ他力往生ノ意トシテ釋シタマフ即チ彌陀ノ本願ヲ信スル者ハ平生ノ時觀音勢至ニ護念ヒラレテ若ク不生者ノ誓益ニヨリ淨土ニ迎ヘ取リタマフコトヲ示ス。コノ不可思議ノ智慧光佛ノミナヲ信受シテ等トハ散善義^三明尊念彌陀名者即觀音勢至常隨影護亦如親友知識也ト云文^十ノ意ト同シ。コノ无等光佛ハ觀音トアラハレ等ト觀勢ノ二大士ハ彌陀ノ分身ナルコトヲ示ス是ハ此二大士ハ彌陀ノ悲智ノ二門ヲ司トリ本師彌陀ノ化益ヲ輔佐シタマフト云コト大阿彌陀經上^三有最尊兩菩薩常在佛左右坐侍正論乃至隨心所欲至到飛行使疾如佛トアリ此二菩薩ノ釋名ハ法華文句二之^二以下ニ出ル。アル經トハ安樂集下^五ニ引ク須彌四域終ノ説ナリ此經ハ經錄ニハ偽經ノ部ニ入レテアレトモ諸家共ニ依用スルコトナリ觀音ノ下ニハ回ニ約シテ无明ノ黑闇ト云ヒ勢至ノ下ニハ果ニ約シテ生死ノ長夜ト云フ是レ影略互顯ナリ。智慧ヲヒカ

ラシムトハ一本ノ如クヒラカシムルトアルヲ聞ヘ易シトス即チ无明長夜ノ迷闇ヲ破シテ菩提ノ智慧ヲ開發セシムルコトナリ

自來迎トイフハ自ハミツカラストイフ彌陀无數ノ化佛无數ノ化觀世音化大勢至等ノ无量无數ノ聖衆ミツカラツ子ニトキヲキラハストコロヲヘタテス眞實信心ヲエタルヒトニワヒタマヒテマホリタマフユヘニミツカラストマスナリ

二釋下三字一 初釋自字一 初自己義 凡ソ此來迎ノコトハ一家ノ

要義ニシテ末燈鈔ニ出ルカ如ク來迎ハ諸行ノ益攝取ハ念佛ノ益トスルカ常棣^レトモ三經文類ノ三輩ノ文ニ就テ辨シタルカ如ク元祖モ來迎ヲ念佛ノ利益トシテ和燈七^八念佛往生ハ報佛ノ來迎トシタマフ其報佛ノ來迎トハ攝取ノ利益ノコトニテ漢燈二^三近縁ヲ明スニ平生ト臨終トヲ分ツ平生トハ攝取不捨ノ佛菩薩常ニ行者ヲ影護シタマフコトナリ今モ其意ナリ 自ハミツカラストイフ等トハ自ヲ自己ノ義ト釋ス 彌陀无數ノ化佛等トハ禮讚^五

若稱禮念阿彌陀佛願往生彼國者彼佛即遣無數化佛無數化觀音無量菩薩
護念行者トアル文ノ意和讚ニテハ南无阿彌陀佛ヲトナフレハ觀音勢至
ハモロトモニ等ノ二首ノ意ナリ併セテ其義意ヲ知ルヘシ

マタ自ハオノツカフトイフオノツカフトイフハ自然トイフ自然トイフハレカラ
シムトイフレカラシムトイフハ行者ハレメテモカクモハカラハサルニ過去今生
未來ノ一切ノツミヲ善ニ轉シカヘナストイフナリ轉ストイフハツミヲケレウレナ
スレテ善ニナスナリヨロツノミツ大海ニイリヌレハスナハチウレホトナルカコトシ
彌陀ノ願カヲ信スルユヘニ如來ノ功德ヲエシムルカユヘニレカラシムトイフハレメ
テ功德ヲエントハカラハサレハ自然トイフナリ誓願真實ノ信心ヲエタルヒトハ攝
取不捨ノ御チカヒニオサメトリテマホラセタマフニヨリテ行人ノハカラヒニアラ
ス金剛ノ信心トナルユヘニ正定聚ノクラ井ニ住ストイフコノコ、ロナレハ憶念ノ心自
然ニオコルナリコノ信心ノオコルコトモ釋迦ノ慈父彌陀ノ慈母ノ方便ニヨリテ

无上ノ信心ヲ發起セシメタマフトミハタリコレ自然ノ利益ナリトシルヘシ

二自然義 是ハ自ノ字ヲ願カ自然ノ義トシテ先字義ヲ示シタマフシ
カラシムトイフハ等トハ廣ク自然ノ義ヲ釋成スルニ轉惡成善ト至德具足
ト心光常護ト信心發起トニ約シテ示シタマフ中ニ於テ初二轉惡成善トハ
三世ノ罪惡ヲ轉シテ功德ノ善法ト成スコトニテ轉ハ轉變ニシテ轉滅ニ非
ズ其相ヲ次ニ譬ヘテヨロツノミツ大海ニイリヌレハスナハチウレホトナルカ
如レトノタマフ此譬ハ行卷御自釋ニ一乘海章ニ出ル 彌陀ノ願カヲ
信スルユヘニ等トハ至德具足ニ約ス是ハ御文ニ一念ニ彌陀ヲタノミタテ
マツル行者ニハ无上大刹ノ功德ヲアタヘタマフトアルニ同シコレ行者ノ方ヨ
リ功德ヲエント計ラスシテ佛ノ方ヨリ與ヘタマフカ故ニ自然ト名クル
ナリ 誓願真實ノ信心ヲエタルヒトハ等トハ心光常護ニ約ス是ハ末燈鈔
十如來ノ誓願ヲ信スル心ノサタマルトマフスハ攝取不捨ノ利益ニアツカユ

へ三不退ノ位ニサタマルト御コ、ロエサフラフヘシ等トアル文ト同意ニテ彌陀ノ心光ニ攝護セラレ、カ故ニ行者ノ信心傾動セサルコト金剛ノ如シ此金剛心ヲ獲得スレハ未來淨土ニ往生スヘキ身ト定マル之ヲ正定聚ノ位ニ住スト示シタマフ 攝取不捨ノ御チカヒトハ光明无量ノ願ノ誓益ナリ行者ノハカラヒニアラストハ自然ノ義ヲ示シタマフ コノコ、ロナレハ憶念ノ心自然ニオコルトハコノコ、ロトハ攝取ノ光益ニヨリテ金剛心トナリ正定聚ノ位ニ住スルコトナリ 憶念心トハ信心相續スルコト其義ハ此下第十二釋アリ コノ信心ノオコルトモ等トハ信心發起ニ約ス是ハ和讃ニ釋迦彌陀ハ慈悲ノ父母種々ニ善巧方便シワレラカ无上ノ信心ヲ發起セシメタマヒケリトアルニ同意ニテ其源ハ般舟讚初ニ出ル此慈父悲母ト分ツコトハ心地觀經三慈父恩高如山王悲母恩深如大海トアリ 方便トハ四教儀集註上十方トハ法也便トハ用也ト釋ス是ハ法用方便ニテ能ク方法ヲ用

ヒテ衆生ノ機ニ契ハ令ルコトナリ 无上ノ信心トハ大經ニ彌陀ノ智慧ヲ无上智慧トアリ其彌陀ノ无上ノ智慧ヨリ頭ル、行者ノ信心ナレハ信心亦无上ナリ 發起セシメタマフトハ他カヨリオコサシメタマヘル自然ノ義ヲ示ス言ナリ コレ自然ノ利益ナリトシルヘシトハ總シテ上ヲ結ビタマフナリ

來迎トイフハ來ハ淨土ニキタラシムトイフコレスナハキ若不生者ノチカヒヲアラハスミノリナリ穢土ヲステ、眞實ノ報土ニキタラシムトナリスナハキ他カヲアラハスミコトナリ 一釋來迎ニ 初釋來字ニ 初來生義 宗義ヲ以テ來迎ヲ釋シタマフ 來ハ淨土ニキタラシムトハ若不生者ノ誓益ヲ以テ彌陀ノ淨土ニ來生令メタマフ意ナリ此來生ノ言ハ觀念法門七ニ引ク所ノ般舟三昧經ニ欲來生者當念我名トアリ 穢土ヲステ、眞實ノ報土ニキタラシムトハ來生ノ義ヲ釋成シタマフ

マタ來ハカヘルトイフカヘルトイフハ願海ニイリヌルニヨリテカナラス大涅槃ニ
 イタルヲ法性ノミヤコヘカヘルトマフスナリ法性ノミヤコトマフスハ法身トイフ如
 來ノサトリヲ自然ニヒラクナリサトリヒラクトキヲ法性ノミヤコヘカヘルトマフ
 スナリコレヲ眞如實相ヲ證ストモイフ无為法身トモイフ滅度ニイタルトモイフ
 法性ノ常樂ヲ證ストモイフ无上覺ニイタルトモマフスナリコノサトリヲウハス
 ナハチ大慈大悲キハマリテ生死海ニカヘリイリテヨロツノ有情ヲタスクルヲ普
 賢ノ徳ニ歸セシムトイフナリコノ利益ニオモムクヲ來トイフコレヲ法性ノミヤ
 コヘカヘルトイフナリ 二還來義 還來ノ言ハ禿鈔下二十 欲令還來報也
 トアリ又歸來ト云コトハ定善義佛歸去來魔郷不可停トアリ述文證上
九來者歸也詩經集註四十來歸也トアリ サテ此還來ノ義ニ付キ二段ア
 リテ初ハ往相ノ果ニ約ス 願海ニイリヌルトハ彌陀ノ智願海ニ歸入スルコ
 トニテ眞實信心ヲ獲得スルコトナリ カナラス大涅槃ニイタルトハ當來

滅度ニ至ルコトニテ往生即成佛ナルカ故ニ禿鈔ニハ今還來報也トノ
 タマフ法性ノミヤコヘカヘルトハ起信論ニ明スカ如ク吾等凡夫ハ無始以
 來無明ニ由リテ眞如法性ノ理ニ迷ヒ三界六道ニ流轉セリ然ルニ彌陀
 ノ願力ニ乘シテ報土ニ往生スレハ速ニ眞如法性ヲ證ルヲ法性ノミヤコ
 ヘカヘルトノタマフ之ヲ定善義佛畢此生平後入彼涅槃城トアリ 法
 性ノミヤコトマフスハ等トハ上ノ段ヲ釋成シタマフ法性ト云ヒ眞如實相
 等ト云フ何レモ涅槃ノ異名ニテ證卷ニハ滅度ノ異名ニハ種畧本ニハ
 十名アリ多ク涅槃經等ニ出ル丈ハ眞佛土卷ニ引用アリ 法身トハ法報
 應ノ三身ノ中ノ法身ニテ眞如ノ理ノ煩惱ノ纏縛ヲ出テタルヲ法身如來ト
 云フ 眞如實相トハ證卷等ニハ之ヲ二名トシタマフ眞如ノコト一多證文ノ
 如シ實相トハ眞如ハ諸法平等ノ眞實ノ相ナリ 无為法身トハ眞如法身ノ
 有為生滅ノ相ヲ離レタルコトナリ滅度ハ三經文類ノ如シ法性ノ常樂トハ

法性涅槃ニハ常樂我淨ノ四徳ヲ具スル中初ノ二徳ヲ舉ル无上覺トハ菩提ノ妙果ナリ コノサトリヲウレハ等トハ後ニ還相ノ果ニ約ス和讃ニ願土ニイタレハスミヤカニ无上涅槃ヲ證シテソスナハチ大悲ヲオコスナリコレヲ廻向トナツケタリトアル意ナリ コノサトリトハ大涅槃ナリ 大慈大悲キハマリテトハ衆生利益ハ大慈悲ノ至極ナルコトヲ示ス 生死海ニカヘリイリテトハ還來穢國度人天ノ相ナリ 普賢ノ徳トハ普賢ノ名ヲ釋スルコトハ探玄記二九^二十⁺ 徳周法界曰普至順調善曰賢トアリ普ハ普遍ノ義ニテ此菩薩ノ徳ノ法界ニ遍ク往キ且ルコト賢ハ賢善ノ義ニテ其性柔和ニシテ慈悲ノ深キ善人ト云コトナリ此普賢ハ人解行ノニ普賢ノ中行ノ普賢ニテ大慈悲ノ菩薩ノ行ノコトナリ 歸トハ歸趣ノ義ニテ普賢ノ行徳ニ趣クコトナリ コノ利益トハ還相ノ利益ナリ コレヲ法性ノミヤコヘカヘルトイフトハ總シテ上ヲ結ヒタマフ

迎トイフハムカヘトイフツトイフコトナリ選擇本願ノ尊號无上智慧ノ信心ヲキ、テ一念モウタカフコトナケレハ眞實信心トイフコト信心ヲウレハ等正覺ニイタリテ補處ノ彌勒ニオナシクテ无上覺ヲナルヘシトイヘリスナハチ正定聚ノカラ井ニサタルナリコノユヘニ信心ヤフレスカタフカスミタレヌコト金剛ノコトクナリシカレハ金剛ノ信心トイフナリ大經ニハ願生彼國即得往生住不退轉トタマヘリ願生彼國ハカノクニムムニシト子カフヘキナリ即得往生ハ信心ヲウレハスナハチ往生ストイフスナハチ往生ストイフハ不退轉ニ住スルヲイフ不退轉ニ住ストイフハスナハチ正定聚ノカラ井ニサタルナリ成等正覺トモイヘリコレヲ即得往生トイフナリ即ハスナハチトイフスナハチトイフハトキヲヘタテスヒヲヘタテヌヲイフナリ 二釋迎字 迎トイフハ等ト初二字義ヲ釋シテ次ニ其義ヲ示ス末燈鈔七^十 彌陀ノ本願トマフスハ名號ヲトナヘシモノヲハ極樂ヘムカヘントチカハセタミヒタルトアリ迎ヘルコトアレハマツ義アリ和讃ニ金剛堅固ノ信

心ノサタマルトキヲマチエテソトアリ 選擇本願ノ尊號等トハ極樂へ迎へ
 取リタマフ相ヲ示ス即チ信心決定スレハ等正覺ニ至リ尤上覺ヲサトルコ
 レ迎へタマフ相ナリ 選擇本願ノ尊號ヲキ、テト云へシ无上智慧ノ信
 心ヲキ、テトアルハ如何ト云ニ尊號ニ對スレハ信心ハ能信ナレトモ末燈鈔
 二十行ト信トハ御チカヒヲ申ナリトアル如ク行信トモニ所信ノ位トナ
 ル邊ニテハキ、テトノタマフヘキコトナリ行卷ニ歸命斯行信トアルモ同意
 ナリ一念モウタカフコ、ロナケレハトハ信ノ一念ニテ禮讚ノ法ノ深信ノ
 釋ノ乃至一念无有疑心ノ意ナリ コノ信心ヲウレハ等正覺ニイタリテ等
 トハ第十二願ノ意ナリ一多證文^四以下併セ見ルヘシ コノユヘニ信心ヤフ
 レス等トハ散善義^左ハ此心深信由若金剛不為一切異見異學別解別行人
 等之所動亂破壞トアル文ノ意ナリ 大經ニハ願生彼國等トハ願成就ノ
 文ヲ引キテ迎ノ字ノ意ヲ示シタマフ願生彼國ヲ彼國ニ生レント願ヘト云

ハ釋尊ノ發遣下ナル願文ニテハ欲生我國コレヲ我國ニ生レント欲ヘト
 云ハハ彌陀ノ招喚トナル招喚即チ迎へタマフ相ナリ 即得往生ハ信心
 ヲウレハ等トハ迎へタマフ相ヲ示ス如何シテ迎へタマフソト云ハハ信ノ
 一念ニ往生ヲ定メ不退ノ位ニ住ヒシメタマフ不退ノ位ニ入りヌレハ必
 ス滅度ニ至ルコレ淨土ニ迎へタマフ相ナリト示ス意ナリ スナハチ往生
 ストイフハ不退轉ニ住スルヲイフトハ得ノ字ヲ定ノ字ノ意ニテ明シタマ
 フ此不退轉正定聚等正覺ノコトハ三經文類ノ如シ 即ハスナハチトイフ
 等トハ即ヲ同時即トシタマフ是モ三經文類ノ如シ

オホヨソ十方世界ニアミ子クヒロマルコトハ法藏菩薩ノ四十八大願ノナカニ第
 十七ノ願ニ十方无量ノ諸佛ニワカナヲホメラレントチカヒタヘル一乘大海ノ
 誓願ヲ成就シタマヘルニヨリテナリ阿彌陀經ノ證誠護念ノアリサマニテアキラ
 カナリ證誠護念ノ御コ、ロハ大經ニモアスレタリステニ稱名ノ本願ハ選擇ノ正

曰タルコト悲願ニアラハレタリニ總結成偈意 如來ノ尊號ノ十方世界ニ普ク弘
 マルコトハ第十七願成就ニ由ルコトヲ示ス 一乘大智海誓願トハ名號ノコトナ
 リ一乘トハ誓願一乘ニテ成佛ノ正回ハ念佛ノ一法ナルコトヲ示ス大智海トハ
 位ヨリ云ハ本願海果上ヨリ云ハ大智海ニテ其躰名號ナリ 成就トハ
 具足圓滿ノ義ナリ爾レハ名號成就ハ十七願ト云コト此文ニテ明カナリ 阿彌
 陀經ノ證誠護念ノアリサニテアキラカナリトハ和讚ニ諸佛ノ護念證誠ハ悲願
 成就ノユナレトアリテ彌陀經ノ證誠護念ハ十七願成就ノ相ナルコトヲ示ス證誠
 ト護念トハ同異如何ト云ニ之ヲ分ケテ云ハ證誠ハ佛ノ身口二業ノ所作ニ出廣
 長吉相ハ身業ナリ說誠實言ハ口業ナリ又護念ハ佛ノ意業ノ利益ニテ佛ノ
 大悲心ヲ以テ行者ヲ護ルコトナリ又證誠ハ勸信ノ為メ護念ハ信心不退ナラ令
 シカ為ナリ又證誠即護念ノ義モアリ其故ハ佛ノ誠實ノ言ヲ以テ念佛往生相違
 ナレト證誠レタマフ故衆生疑ヒナク信心ヲ相續スル是レ佛ノ證誠即行者ノ

信心ノ守護ニナレカ故ニ證誠即護念ナリ 證誠護念ヲ御コトハ大經ニモ
 アラハレタリトハ十七願成就ノ文ノ意ヲ指シテ大經ニモアラハレタリトナ
 マフ選擇集末ニ阿彌陀經ノ諸佛證誠ノ義ヲ明スニ彼雙卷寺中雖無證
 誠之言此經已有證誠例以此思彼於彼等經中所說念佛亦應有證誠之義
 文雖在此經義通於彼經トアリ其義知ルヘシ ステニ稱名ノ本願ハ寺ト
 ハ第十七願ニ諸佛名號ヲ讚嘆シタマヘルヲ以テ念佛ノ一行ノ往生ニ正回
 タルコト明カナリト示ス意ナリ稱名ノ本願トハ稱我名号ノ本願ニテ我名
 ヲ稱フル者ヲムカヘントアル第十八ノ本願ナリ選擇ノ正回トハ稱名ノ行
 ハ彌陀回位ノ時方行ノ中ヨリ選擇シテ淨土往生ノ正回ト定メタマフト云
 コトナリ悲願トハ總即別名ニテ十七願ヲ悲願ト名クルコトニ經文類ノ
 如シ

コノ文ノコトハオモフホトハマフサスコレニテヲシハカヲモタマフハニ 三示不盡意

コノ丈ハ後善導法照禪師トマフス聖人ノ御釋ナリコノ和尚ヲハ法道和尚ト慈覺大師ハタマヘリマツクハテ廬山ノ彌陀和尚トモマフス淨業和尚トモマフス唐朝ノ光明寺ノ善導和尚ノ化身ナリコノ丈ハ後善導トマフスナリ 三造主法照禪師ヲ後善導ト名クルコトハ樂邦文類三三三ニ引ク所ノ慈雲ノ西方往生略傳ノ中ニ後有法照大師即善導後身也トアリ此法照ノ傳記ハ宋高僧傳二十一^四ニ出ル コノ和尚ヲハ法道和尚ト慈覺大師ハノタマヘリトハ上帖見聞一末七覺大師渡唐時值法道和尚引聲阿彌陀經念佛三昧相傳トアリ廬山ノ彌陀和尚ト云トハ樂邦文類三三三ニ出ル 淨業和尚ト云ハ五會念佛ノ道場ヲ開クカ故ニ此名ヲ云ルナリ

彼佛曰中立弘誓 聞名念我總迎來 不簡貧窮將富貴 不簡下智與高才 不簡多聞持淨戒 不簡破戒罪根深 但使迴心多念佛 能令瓦礫變成金 一解慈愍和尚釋三 初出文 此文ハ五會讚本八十二出テノ般舟三昧經ニ依リテ造レルトコロノ般舟三昧樂ノ讚三十八首アリ其中ノ第二于大首以下ノ文ニテ行卷ニ引キタマヘリ此文ハ唯信鈔二十八願ノ意トシテ引ケリ選擇集本願章三三三之ヲ引キテアリ然レニ吾祖之ヲ行卷ニ引キタマフハ選擇本願ヲ所信ノ行トス意ナリ

彼佛曰中立弘誓コノコトハ彼ハカノトイフ佛ハ阿彌陀佛ナリ曰中ハ法藏菩薩トマフシトキナリ立弘誓ハ立ハタマヒトイフテ九トイフ弘ハヒロシトイフヒロマルトイフ世只チカヒトイフ法藏比丘起世无上ノチカヒヲオコシテヒロメタマフトナリ起世ハ餘ノ佛ノ御チカヒニスクレタマヘリトナリ起ハコエタリトイフウヘナレトイフ如來弘誓ヲオコレタマヘルヤウハ唯信鈔ニクハレクアスセリ 二述意ニ 初正釋偈丈ハ 初釋第一句 コノコトハ彼ハカノトイフ等トハ彼トハ此ニ對ス此衆生ノ為ニ彼阿彌陀佛曰法藏菩薩タリト時發願シタマヘリ 立ハタマヒトイフトハ建立ノ義 ナルトイフトハ成立ノ義ナリ

弘びて口レトハ弘廣ノ義ニテ彌陀ノ本願ノ廣大ニレテ凡聖善惡ヲ攝スルコトナリ。ヒロムルトイフトハ弘通ノ義ナリ。誓ハ至カビトイフトハ邊制ノ義ナリ。法藏比丘等トハ總シテ一句ノ意ヲ示ス。超世ノ餘ノ佛ノ御チカビニスクレタマヘリトハ彌陀偈經ニ發願超諸佛トアリ其モトハ三誓ノ偈ニ我建超世願トアリ然ルニ此超世願ト云フ等身義寂等ノ諸師ハ法藏菩薩ハ地上出世間ノ菩薩ナレハ地前世間ニ超出シタル本願ナレハ超世願ト云ト解セリ然ルニ今家ノ意ハ三世諸佛ニ超出シタル本願ナリト云意ニテ和燈一帛カク佛モ我建超世願トナリタマヘリ三世ノ諸佛モイマタカクノコトクノ願ヲハ發シ給ハス十方ノ薩埵モイマタコレヲノ願ハニシマサストアルニテ知ルヘシ。如來ノ弘誓ヲオコシタマヘルヤウノ等トハ唯信鈔四ヨリ左ハマテニ明セラフ指シタマフナリ。

聞名念我トイフハ聞ハキクトイフ信心ヲアラハスミソリナリ名ハ如來ノチ

カビノ名號ナリ念我トマフスハコノミチヲ憶念セヨトナリ諸佛稱名ノ悲願ニアラハセリ憶念トイフハ信心ニコトナルヒトハ本願ヲツ子ニオモヒイツルコノロクダエスツ子ナルナリ。二釋第二句二。初釋上四字。聞ノ字ヲ釋スルニ聞即信トシタマフコトハ一多證文執ノ如シ。名ノ字ノ釋ハ知ルヘシ。念我トマフスハ等トハ念ヲ憶念ノ義トスルコトハ易行品八若人念我稱名トアリコレ三信十念ナリ正信偈ニハ憶念彌陀佛本願トアリ。諸佛稱名ノ悲願トハ十七願ナルコトニ經文類ノ如シ。アラハセリトハ十七願ニ稱我名者トアル名トハ名號ニテ此名號ノ中ニハ信ト行トノ誓ヒアリ今ハ信ニ約シテ十七願ニ稱我名者トアルハ我名號ヲ憶念セヨト勸メラレントノ誓ナリト示ス意ナリ。憶念トイフハ等憶ハ憶持念ハ明記不忘ナリ華嚴大疏鈔三十四上五攝法在心故名憶念トアリコノ憶念トハ本願ヲ持チテ忘レサルコトナリ然ルニ此憶念ノ釋ニツ子ト云言二小處アリ初ノツ子ニオ

モヒイツルト云ハトキノ思ヒ出ス相續常ナリ後ノタエスツ子ナルナリ
ト云ハ憶念ノ信心間斷セサル不斷常ナリ尚御一代記十憶念相續ノ
相ヲ釋シタマフ見ルヘシ

總迎來トイフハ總ハフサ子テトイフスヘテミナトイフコノロナリ迎ハムカフルト
イフマツトイフ他カヲアススコノロナリ來ハカルトイフキタルトイフ法性ノ
ミヤコヘムカヘテカヘラシムトナリ法性ノミヤコヨリ衆生利益ノタメニ娑婆界
ニキタリタマフユヘニ來ヲキタルトイフナリ經ニハ從如來生トノタメハリ從如ト
イフハ真如ヨリトラス來生トイフハキタリ生ストイフナリ 二釋下三字
フサ子テトハ總攝ノ義ニテスヘテミナモラサヌ意ナリ 迎來ノ釋ハ上ノ
六以下委シキ釋アリタルカ如シ 經ニハ從如來生トノタメハリ等トハ
大經下卷ノ淨土ノ菩薩ノ德ヲ嘆スル文ニテ彌陀ノ淨土ハ法性緣起ノ
淨土ナルカ故ニ淨土ノ菩薩真如ヨリ形ヲ現シテ十方世界ニ顯レテ

利生スルコトヲ說ケリ今モ其意ニテ還來ノ義ヲ證シタマフ之ヲ證卷
ニハ彌陀如來從如來生示現報應化種々身也ト彌陀ニ約ス今ハ衆生
ニ約ス是ハ主伴不二ノ淨土ノ妙證ノ相ナリ

不簡貧窮將富貴トイフハ不簡ハエラハストイフキラハヌコノロナリ貧窮ハマ
ツレクダシキナリ將ハマサニトイフモテトイフ并テユクトイフ富貴ハトメル
トイフヨキヒトノイフコレヲマサニモテエラハス淨土ハ并テユクトナリ 三
釋第三句 初二字義ヲ釋シ次ニ義意ヲ明シタマフ將ノ字ノ訓ヲ出シ
タマフニ并テユクトハヒキ并テユクコトニテ淨土ニツレユキタマフ意ナリ
不簡下智與高才トイフハ下智ハ智慧アサクセハクスタキモノナリ高才ハ
才學ヒロキモノコレヲエラハストナリ 四釋第四句

不簡多聞持淨戒トイフハ多聞ハ聖教ヲヒロクオホクキノ信スルナリ持ハタ
モツトイフ多モツトイフハナラヒマナフコノロウレナハスチラサヌナリ淨戒ハ大乘小

乘ノモロノ戒品五戒十善戒小乘ノ具足戒三千ノ威儀六万ノ齊行
 大乘ノ一心金剛法戒三聚淨戒梵網ノ五十八戒等スニテ道俗ノ戒品コレラ
 フタモツヲ持トイフコレラノ戒品ヲマフルヲ破トイフナリカヤウノサマノ
 大小ノ戒品ヲタモテルイミシキヒトノモ他方眞實ノ信心ヲエテノチニ眞
 實ノ報土ニハ往生ヲトクルナリミツカラノオノノノ戒善オノノノ自カノ
 信自カノ善ニテハ實ノ報ノ淨土ニハムマレストシルヘシ 五釋第五句

多聞ハ聖教ヲヒロクオホクキ、信スルナリトハ聖教トハ大聖ノ教法
 ニテ經律論ノ三藏ノコトナリ 持ハタモツトイフ等トハ戒律ヲ修習
 シテ散失セサルヲ持ト名クルト云意ナリ 淨戒ハ大乘小乘ノモロ
 ノ戒品等トハ先戒品ヲ列子テ後ニ他方往生ノ旨ヲ明シタマフ
 淨戒トハ破戒ノ垢ヲ離レテ持戒清淨ナルコトナリ 大乘小乘ノ
 モロノ戒品ハ次ニ出ル是ハ序分義 三十 具足衆戒ヲ釋スルニ多種

ノ戒品ヲ列ヌ選擇集末^十具足衆戒者此亦有二一者大乘戒二者小乘
 戒也等トアリ五戒八戒ハ知ルヘシ十善戒トハ沙彌ノ十戒ニ非ス十善業
 ノコトナリ選擇集末^十十善業ノ名目アリ小乘ノ具足トハ比丘ノ二百
 五十戒比丘尼ノ五百戒ノコトナリ三千ノ威儀トハ二百五十戒ニ各々
 四威儀アリ合シテ一千トナル是ニ三世ヲ乘スレハ三千トナリ六万
 ノ齊行トハ三千ノ威儀ニ倍シテ六万ト云フ齊ノ字細ニ作ルアリ齊ノ
 字ナレハ身口ヲ齊整スルノ行ト云コトナリ此小乘戒ハ四分律ノ説ナリ
 大乘ノ一心金剛等トハ梵網經ノ説ニテ一心ト云ハ本具ノ一心ヲ以テ
 戒躰トス此一心ハ起信論ノ一心ト同シク真理ノコトナリ金剛法戒ト云
 ハ安然ノ普通廣釋上^{三十} 金剛寶戒一受永固終不犯失而有天用譬如
 金剛一成剎寶更不被壞トアリ是レニ得永不失ノ戒ヲ金剛ノ堅固ナル
 二喻フルナリ三聚淨戒トハ攝律儀戒攝善法戒攝衆生戒ナリ 五十

八戒トハ梵網所説ノ十重禁戒ト四十八輕戒ト輕重合スレハ五十八戒
 ナリ道俗ノ戒品トハ五戒八戒十善戒ハ在家ノ戒其餘ハ出家ノ戒ナリ
 コレヲヲタモツヲ持トイフ等トハ知ルヘシ カヤウノサニクノ等トハ他力
 往生ノ旨ヲ明ス持戒作善ノ自力ヲ以テハ眞實報土ノ往生ヲ得ヘカラ
 ス他力眞實ノ信心ヲ以テ報土ノ正回トスルコトヲ示ス極樂尤為涅槃
 界隨緣雜善恐難生等ノ意ナリ イミシキトハ源氏物語等ニ出ル言ニ
 テ美ノ字ノ意勝レタル意ナリ

不簡破戒罪根淺トイフハ破戒ハカミニアラハストコロノヨロツノ道俗ノ戒品ヲ
 ケテヤフリステタルモノコレヲキラハストナリ罪根淺トイフハ十惡五逆ノ惡
 人謗法闍提ノ罪人オホヨソ善根スナキモノ惡業オホキモノ善心アサキモノ
 惡心フカキモノカヤウノアサシキサニクノツミフカキヒトヲ淺トイフフカシト
 イフコトハナリ 六釋第六句ニ 初正釋文 破戒ハカミニアラハス等トハ信

卷所引ノ涅槃經ニハ謗法ト五逆ト闍提ト難治ノ機ト説ク罪根深固ニシテ拔
 除シ難キカ故ナリ此破戒罪根深トハ唯知作惡ノ下三品ノ機相ナリ

スヘテヨキヒトアレキヒトタフトキヒトイヤシキヒト无身光佛ノ御チカヒニハエラ
 ハスコレヲミチビキタマフヲサキトシム子トスルナリ眞實信心ヲウレハ實報土ニ
 ムニルトオレハタヘル淨土眞宗トストルヘシ總迎來トイフハスヘテミナ眞實信
 樂アルモノヲ淨土ヘムカヘサカハラシムトナリ 一總結釋 上來ハ別シテ文
 句ヲ釋シ今ハ總シテ結釋シタマフスヘテヨキヒトアシキヒト等トハ不簡貧
 窮等ノ意 眞實信心ヲウレハ等トハ聞名念我ノ意ナリ爰ニ淨土眞宗ト
 宗名ヲ舉ルハ黒谷相承ノ念佛往生ノ正意ナリコトヲ示ス意ナリ 總迎來ト
 イフハ等トハ上ノ別釋ノトコロニ文句ヲ釋シタマハトモ今總結ノ為ニ之ヲ
 釋シタマフナリ

但使廻心多念佛トイフハ但使廻心ハヒトハ三廻心セシメヨトイフコトハナリ廻心

トイフハ自カノ心ヲヒルカヘシスツルヲイフナリ實報土ニムマルヒトハカナラス
 无専光佛ノ心中ニオサメトリタマフユニ金剛ノ信心トナルナリコトユヘニ多
 念佛トマスナリ多ハ大ノコトナリ勝ノコトナリ増上ノコトナリ大ハオホ
 キナリ勝ハスクレタリヨロツク善ニスケタルナリコレスナハチ他カ本願ノユヘ
 ナリ 七釋第七句一 初總釋文句 ヒトヘニトハ但ノ字ノ意ナリ廻心ト
 イフハ等トハ自カノ善根ヲ以テ報土往生ヲ得ヘカラスト識知スルコト
 ナリ 實報土ニムマルヒトハ等トハ多念佛ノ義ヲ釋ス此多念佛トハ
 稱名相續スルコトナリ其義何ヲ以テ知ルヤト云ニ此彼佛目中立弘誓ノ
 八句ノ文ヲ第十八願ニ配スレハ初ノ二句ハ總句ニテ次ノ六句ハ別句ナ
 リ別ノ中四不簡ハ十方衆生ナリ但使等ノ二句ハ三信十念若不生者
 不取正覺ナリ然ルニ三信十念ノ中ニ於テ總句ニハ念我ト云テ三
 信ヲ出レ別句ニハ多念佛ト云テ乃至十念ヲ出スコレ影略五顯ナリ故

ニ多念佛トハ行住坐臥ノ念々不捨ノ稱名ナリ然ルニ今ノ祖釋ハ多念
 佛ヲ金剛ノ信心トレタマフハ此念佛ハ无信單行ニハ非ス金剛ノ信心ヨリ
 流出スル念佛ナルコトヲ顯シタマフ意ニテ行信ハ固ヨリ不離ナルカ故ニ信
 ニ離レサル行ニ約スレハ多念佛トハ稱名ノ行ナリ行ニ離レサル信ニ約ス
 レハ多念佛トハ金剛ノ信心ナルヘキナリ 无専光佛ノ心中ニ攝メ取リタ
 マフユヘニ金剛ノ信心トナルトハ末燈鈔ハコノ人ハ攝取シテステタマハサ
 レハ金剛心ヲエタル人トマスナリトアルニ同シ 多ハ大ノコトナリ
 是ハ梵語ノ摩訶ニ大多勝ノ三義アリ此三義ハ相離レサルカ故ニ多ヲ
 釋スルニ大ト勝トヲ出シタマフ是ハ選擇集末ハ念佛ヲ多善根ト名シ
 ルニ付キ大善根ノ義勝善根ノ義アルコトヲ明シテアリ増上ノコトナ
 リハ増上下ハ殊勝ノ義ニテ義章二本ニ起法功勝故曰増上トアリコレ
 スナハチ他カ本願ノユヘナリトハ念佛ニ大多勝及ヒ増上ノ義アルコトヲ成

シタマフナリ

自カノコノロヲスツトイフハヤウクサマク大小ノ聖人善惡ノ凡夫ノミツカラ
 カ身ヲヨシトオモフコノロヲステ身ヲタノマスアシキヨ、ロヲサカシクカヘリミ
 スニタヒトアアシヨシトオモフコノロヲステヒトスチニ具縛ノ凡夫屠沽ノ下
 類无身光佛ノ不可思議ノ誓願廣大智慧ノ名號ヲ信樂スレハ煩惱ヲ具足
 シナカラ无上大涅槃ニイタルナリ具縛トイフハヨロツノ煩惱ニシハラレタルワ
 レナナリ煩ハ身ヲワツラハス惱ハコノロヲナヤミストイフ屠ハヨロツノイキ
 タルモノヲコロシホアルモノコレハ獵師トイフモノナリ沽ハヨロツノモノヲウリカ
 フモノナリコレハアキヒトナリコレヲ下類トイフナリカヤウノアシキヒト獵師
 サマクノモノハミナイシカハラツラテノコトクナルワレナリ 二別釋迴心相
 是ハ上ニ迴心ヲ釋シテ自カノ心ヲヒルカヘリスツルヲイフナリトアル其
 相ヲ詳ニ示シタマフ此一段ハ機ノ深信凡聖ニ通スルコトヲ成スルノ明證

ナリ其故ハ凡聖トモニ同シク无有出離之縁ト信知シテ自カヲ捨ルハ勿
 論ナレトモ凡聖ノ性ヲ轉セシテ情ヲ轉スルノミ其性トハ自性ナリ情ト
 ハ迷情ナリ此義ヲ今ノ文ニテ伺ハヤウクサマクノ大小ノ聖人善
 惡ノ凡夫トハ性ヲ示ス言ニテ凡聖善惡ノ機類其差別アリトイヘトモ
 其自性ヲ轉セス其マ、下ラナリ次ニミツカラカ身ヲヨシトオモフコノ
 ロアシキコノロ又ヒトアアシヨシトオモフコノロトハ情ヲ示ス言ニテ
 大小ノ聖人善惡ノ凡夫何レモ吾身ノ有善无善ニ目ヲカケテ往生ノ
 得否ヲ計ラフ自カノ迷情ヲ捨テサレハ彌陀ノ願カヲ信スルコト能ハ
 サルナリ 大小ノ聖人トハ普賢文殊等ハ大乘ノ聖人ナリ舍利弗目連
 等ハ小乘ノ聖人ナリ善惡ノ凡夫トハ九品ノ中ニ於テ上中六品ハ善凡
 夫ナリ下三品ハ惡凡夫ナリ ミツカラカ身ヲヨシトオモフコノロヲステ
 トハ我身ニ出離ノ善根アリト思フ意ヲ捨ルコトナリ 身ヲタノマス

トハ我身ノ善根ヲカラニセス自力无功ヲ知ルコトナリ アレキコ、ロ
 ヲサカレシカヘリミストハ惡凡夫モ惡心ニ目ヲカケサルコトナリ サカ
 レクトハ日本紀等ニ出ル言ニテ賢ノ字或ハ明達ノ字ヲ書ケリ又點ノ
 字ヲサカレクト讀ム點ハ狡點ト熟シテワルカレコキコト俗ニ云フコサカ
 レキコトナリ今ハ點ノ字ノ意ニテ小智ヲ以テ出離ノ大事ヲ計ラフ
 トナリ 末燈鈔六文沙汰シテサカレシキヒトノマイリタルヲハ往
 生イカレカアフレシラントタシカニウケタマハリキトアルニテ知ルヘシ
 マタヒトヲアレシヨシトオモフコ、ロラステトハ自他ヲ比較シテ善惡ヲ
 分別スル自力ノ迷情ヲ捨ルコトナリ 具縛ノ凡夫等トハ信卷所引ノ
 元照ノ彌陀經ノ疏ニ出ル言ニテ次下ニ釋アリコレ本願ノ實機ナリ
 无尋光佛等トハ他力ノ信相ナリ不可思議ノ誓願トハ回ナリ廣大
 智慧ノ名號トハ果ナリ回果ヲ並へ舉テ所信トシタマフ信樂トハ能信

ナリ 煩惱ヲ具足シナカラ等トハ不斷煩惱得涅槃ノ意ナリ是ハ法
 徳ニ約スレハ信ノ一念ニ三世ノ業障一時ニ消滅ストイヘトモ機相ニ約ス
 レハ臨終ニテ煩惱具足ノ凡夫ナリ 具縛トイフ等トハ上ノ具縛ノ凡
 夫屠沽ノ下類ヲ釋成シタマフ具縛トハ煩惱ヲ具足スルコトナリ縛ハ
 結縛ニテ煩惱ノ異名ナリ ヨロツノ煩惱トハ戒度ノ聞持記ニ具縛ヲ
 釋シテ一惑全在故トアリ二惑トハ見思ノ煩惱ノコトナリ 煩ハ身ヲ
 ワツラフス等トハ佛地論四六亂身心故名煩惱障トアリ 屠ハヨロツ
 ノイキタルモノヲコロシ等トハ廣韻ニ屠ハ殺也トアリ沽ハヨロツノモノ
 ヲウリカフモノ等トハ玉篇ニ沽ハ賣也買也トアリ カマウノアレキヒト
 等トハ次ノ句ノ意ヲ引上テ述ヘタマフ

能令瓦礫變成金トイフ能ハヨクトイフ令ハセシムトイフ瓦ハカハトイフ礫ハ
 ツラテトイフ變成金ハ變成ハカヘナストイフ金ハコカ子トイフ如來ノ本願ヲ

信スレハカハラツフテクコトクナルワレヲココカ子ニカヘナサレトタトヘタマヘルナ
 リアキヒト獵師ナトハイシカハラツフテクコトクナルヲ如來攝取ノヒカリニオサ
 メトリタマヒテステタマハスコレヒトヘニニコトノ信心ノユヘナレハナリトシルヘシ攝
 取ノヒカリトマウスハ无尊光佛ノ御コノウチニオサメトリタマフユヘニ金
 剛ノ信心トマウスナリ 八釋第八句 是ハ誓ニ約シテ轉惡成善ノ益ヲ示
 シタマフ能令トハ淨土論ヨリ出ル文字ニテ他カヲ顯ス言ナリ 瓦礫トハ
 礫ハ玉篇ニ小石也トアリ變ハ轉變ナリ 礫トハ凡愚金トハ曰ニ約スレハ
 金剛ノ信心果ニ約スレハ无上涅槃ナリ故ニ上ノ段ニハ果ニ約シテ无上大
 涅槃ニイタルト云ヒ今ハ曰ニ約シテ金剛ノ信心トシタマフ正像末讚ニ
 彌陀智願ノ廣海ニ凡夫善惡ノ心水モ歸入シヌレハスナハチニ大悲心トシ
 轉スナルトアルト同意ニテ大悲心トハ他力信心ノコトナリ凡夫善惡ノ
 心ヲ轉變シテ金剛ノ信心トナスハ如來ノ本願力ナリ此瓦礫ヲ變シテ

金トナスコトハ義林章勝定果色章ニ出ル如ク八地以上ノ大菩薩ノ威徳
 定ノ力用ナリ今凡夫善惡ノ心轉變シテ金剛心トナルハ攝取ノ光明ノ不
 思議力ナリ 攝取ノヒカリトマウスハ等トハ次上^{十四}ト同意ナリ

コノ文ノコノロハオモフホトハマウシアラスハシサフラス子トモアラスクマウスナリ
 フカキコトハヨカシレヒトニモトハセタマフヘシ 二示不盡意

コノ文ハ慈愍三藏トマウス天竺ノ聖人ノ釋ナリ震旦ニハ慧日三藏トマウス
 ナリ 三造主 コノ慈愍ノ傳ハ宋僧傳二十九^六佛祖統紀二十七^{五十二}出ル
 俗姓ハ辛氏名ハ慧日東萊ノ人ナリ唐ノ玄宗號ヲ慈愍三藏ト賜フ善
 導少康ト異時同化ノ人ナリ是ハ震旦ノ人ナレトモ天竺ニ遊フコト十八
 年ナリ之ニ由リテ天竺ノ聖人トノタマフナリ

極樂无爲涅槃界 隨緣雜善惡難生 故使如來選要法 教念彌陀專復
 專 三解善導和尚釋二 初出文 此文ハ法華讚下^{十二}出テ、唯信鈔及

ト真土卷ニ引テアリ此四句ノ中今ハ第四句ノ教念彌陀專復專ノ一句ヲ以テ正所用トスルコト知ルヘシ然ルニ此四句ノ文ハ總シテ彌陀經ノ前後ノ經意ヲ明ス即チ初ノ二句ハ前段ノ不可以少善根等ノ文意ヲ取り後ノ二句ハ執持名號一日七日ノ念佛ノ經意ヲ取りテ明シタル讚文ナリ

極樂尤為涅槃界トイフ極樂トイフスハカノ安樂淨土ナリヨロツノタノシミツ子ニシテクルシミマシハラサナリカノクニラハ安養トイヘリ曇鸞和尚ハホメタテマツリテ安養トイフストノタマヘリマタ論ニ蓮華藏世界トイヘリ无為トモイヘリニ述意四 初釋第一句ニ 初上四字 極樂ノ名義ハ彌陀經ニ説クカ如シ安樂ノ名義ハ大經ニ説クカ如シ安養ノ名目ハ大經ニ出ル義寂ノ疏ニ安心養身云安養也トアリ是ハ淨土論ノ永離身心惱受樂常无間ノ意ナリ曇鸞和尚ハホメタテマツリテ安養トイフストノタマヘリトハ讚彌陀偈ノ初ニ出ル マタ論ニ蓮華藏世界トイヘリトハ淨土論ノ終ニ出ル此蓮華藏

世界ハ華嚴經ノ説ニシテ通シテ云ハ諸佛淨土ノ名ナレトモ今ハ別シテ彌陀ノ淨土ノ名トシタマフ是ハ彌陀ノ淨土ノ中ニアラユル諸佛ノ淨土ヲ攝スルカユヘナリ般舟讚ハ法界即是如來國トアリ此華藏界ノ釋名ハ探玄記三五^十梁ノ攝論ヲ引テ釋セリ其中ニ釋アリ初釋ハ真如法性ヲ蓮華ニ譬フル義ニテ其初釋ニ四義アリ其中第一義ノ意ハ世間ノ蓮華ノ泥中ニ在リ下ラ汚サレサル如ク法性真如ハ世間ノ有漏法ノ為ニ汚サレサルニ譬フ後釋ハ諸佛ノ果上ニ於テ曰位ノ願力所感ノ大賢蓮華ヲ淨土ノ依止トスルト云義ナリ此ニ釋ノ中初ハ蓮華ヲ譬ニ約シ後ハ蓮華ヲ法ニ約ス是ニ順シテ解サハ彌陀ノ淨土ハ世間ノ有漏法ノ為ニ汚サレサル真如ノ理ノアリクマカ顯レタル法性緣起ノ淨土ナルヲ以テ蓮華藏世界ト名ク又彌陀ノ淨土曰位ノ願力ニ由リ蓮華ヲ以テ淨土ヲ莊嚴シタマフ大經ニ又衆寶蓮華周滿世界トアリ故ニ蓮華藏世界ト名クルナリ

藏トハ含藏ノ義ニテアラユル諸佛ノ淨ヲ攝スルカ故ナリ 无為トモイヘ
リトハ彼佛國土清淨安穩微妙快樂次於无為泥洹之道トアリ无為トハ
涅槃ノ異名ナルコト次下ニ出ル无為為涅槃ヲ證スルトコロナリ

涅槃界トイフハ无明ノトヒラヒルカヘシテ无上覺ヲサトルナリ界ハサカヒト
イフサトリラヒラクサカヒナリトシルヘシ 二下三字ニ 初正釋 无明ノマ
トヒトハ无明トハ愚癡ナリ大乗義章五本ニ^{二十}癡闇之心慧無慧明故曰
无明トアリ愚癡ノ慧ノ上ニ智慧明ナキヲ无明ト名クルナリ マトヒト
ハ惑ノ字ニテ煩惱ノ異名ナリ摩訶止觀五之二^三无明癡惑本是法性
以癡迷故法性妄作无明トアリ同一之三^{二十}无明轉變即為明トアリコレ
迷ハ无明トナリ證レハ明トナル其慧法性真如ナリ故ニ无明ノ惑ヲ翻シ
テ无上覺ヲ證スラ涅槃ノ妙果ト名ク界トハ涅槃ヲ證スル境界ナリコレ
彌陀ノ淨土ノ妙相ナリ

涅槃トイフスニソノ名无量ナリクハシクマフスニアタハスオロクソノ名ヲアラス
スヘシ涅槃ヲハ滅度トイフ无為トイフ安樂トイフ常樂トイフ實相トイフ法
身トイフ法性トイフ真如トイフ一如トイフ佛性トイフ佛性スナハナ如來
ナリ 二便釋ニ 初正出涅槃異名 是ハ涅槃界ノ言便ニ乘シテ廣ク
涅槃ノ相ヲ釋シタマフ涅槃ニ无量ノ名アリト云コトハ真土卷所引ノ
涅槃經ニ之ヲ説ケリ オロクトハアラクト同シオロトアラト通ス康
頼ノ寶物集ニ少々ト書テアラフト訓シテアリ 涅槃ヲハ滅度トイフ
等トハ證卷ニ八九名ヲ列子略本ニ六十一名ヲ擧テアリ汎ク云ハハ法華
玄義ニ六十二名ヲ列子義林章ニ六十四名ヲ擧ル今六十一名ヲ擧ケタ
マフ此名義ハ大略一多證文ニ此鈔^六ニ出タルカ如シ 佛性スナハチ如
來ナリトハコノ如來ハ法身如來ニテ佛性ト云ハ一切衆生本具ノ法身
是涅槃ノ異名ナリ然ルニ佛性ト法身トハ慧ハ一ナレトモ口中ニ在ル

ヲ佛性ト云ヒ果位ニ顯レタルヲ法身ト云ナリ

コノ如來微塵世界ニミチクク々ヘリスナハチ一切群生海ノコノ口ナリ草木國土コトクク成佛ストトケリ 二曰明佛性德用ニ 初示佛性相 是ハ一切衆生本具ノ佛性ノ相ヲ明スコノ如來トハ次上ノ法身如來ナリ此佛性ハ十方微塵世界ニ周遍セリ即チ一切衆生ノ本具ノ心ナリ玄義分ニ真如之躰量量性不出蠢々之心等トアルニ同シ佛性即真如ナルカ故ニ一切衆生ニ周遍スルコト勿論ナリコレ起信論ノ本覺ノ理性ナリ豈唯有情ニ具スルノミナラシヤ非情ニモ周遍セリ故ニ次ニ草木國土悉皆成佛ノ説ヲ出シタマフ情非情同ニ真如ナルカ故ナリ此草木成佛ノコトハ天台家ニ多ク説スルコトナレトモ直ニ此經説アルニ非ス經意ヲ取リタルモノナリ其故ハ圓覺經ニ衆生國土同一法性トアリ依正不二色心不二ナルカ故ニ有情ノミ成佛スルニ非ス非情モ成佛ス金錒論ニ

ハ一佛成道法界無非此佛之依正ト云ヘリ委シクハ台宗ニ百題七九

草木成佛ノ論題アリ

コノ一切有情ノ心ニ方便法身ノ誓願ヲ信樂スルカユヘニコノ信心スナハチ佛性ナリコノ佛性スナハチ法性ナリ法性スナハチ法身ナリ 二明入修用ニ 初正明信心佛性 上ニ一切衆生本具ノ佛性ヲ明ストイヘトモ之ヲ證得セサレハ佛果ヲ得ルコト能ハス恰モ璞玉ノ琢磨セサレハ光輝ヲ發セサルカ如シ故ニ今入ノ修用ニ約シテ佛性開覺ノ相ヲ示ス中ニ於テコノ一切有情ノ心ニ等トハ涅槃經ニ大信心ハ佛性ナリトアル經説ヲ轉用シタマフ其故ハ經文ノ當相ハ大乘法ヲ信スル信心ニ由リテ六度ノ行ヲ具足シテ遂ニ本有ノ佛性ヲ證リ顯スカ故ニ信心ヲ佛性ト名クルナリ今ハ願力廻向ノ信心ニ由リテ安養界ニ至リ本有ノ佛性ヲ證リ顯スト云コトヲ示シタマフ一切有情ノ心トハ能信ノ入ナリ 方便法身ノ誓願

トハ所信ノ法ナリ此方便法身ノ誓願トハ次下ノ二種法身ノ中ノ方便
 法身ノ阿彌陀佛法藏自位ノ時發シタマヘル超世ノ大願ニテ總シテ云ヘ
 ハ四十八願別シテ云ヘハ第十八願ナリ 信樂トハ三信即一ノ信樂ニテ
 他カノ信心ナリ コノ信心スナハチ佛性ナリトハ他カノ信心ヲ曰ト
 シテ佛性ヲ證リ顯スコトナリ コノ佛性スナハチ法性ナリ等トハ轉
 釋ニテ本具ノ佛性ハ即チ法性ノ真理ナリ法性即チ法身如來ニテ
 本具ノ理性ノ煩惱ヲ離レテ果位ニ至リタルヲ法身如來ト名クルナリ
 シカレハ佛ニツイテ二種ノ法身ニシメスヒトツニハ法性法身トマフスタツニハ
 方便法身トマフスタツニハ法性法身トマフスハイロモノナレカチモニシメサスシカレハコノ
 モオヨハスコトハモタエタリコノ一如ヨリカチヲアハシテ方便法身トマフス
 ソノ御スカタニ法藏比丘下ナリタマヒテ不可思議ノ四十八願ヲオコシテ
 マフナリコノ誓願ノナカニ光明無量ノ本願壽命無量ノ弘誓ヲカチハシタマヘ

ル御カタチヲ世親菩薩ハ盡十方无身光如來トナツケタテマツリタマヘリコ
 ノ如來スナハチ誓願ノ業曰ニムクヒタマヒテ報身如來トマフススナハチ阿
 彌陀如來トマフス報トイフハチ子ニムクヒタルユヘナリコノ報身ヨリ應化等
 ノ无量無數ノ身ヲアラハシテ微塵世界ニ无身ノ智慧光ヲハナタレヌタマ
 ヲヘニ盡十方无身光佛トマフスヒカリノ御カタチニテイロモニシメサスカチ
 モニシメサススナハチ 法性法身ニオナシクシテ无明ノヤミヲハラヒ惡業ニサ
 ヘラレスコノユヘニ无身光トマフスナリ无身ハ有情ノ惡業煩惱ニサヘラレスト
 ナリシカレハ阿彌陀佛ハ光明ナリ光明ハ智慧ノカタチナリトシルヘシ 二示
 二種法身相 此二種法身ノコトハ既ニ多證文ニ出テ、彼此對照
 スルニ廣略ノ不同アリトイヘトモ其義途同シキヲ以テ彼所ニ於テ其梗概ヲ
 辨シタリキ故ニ彼略述ヲ對看スヘシ シカレハ佛ニツイテ二種ノ法身マシ
 マス等トハ總標ナリ法性法身トマフスハ等トハ別釋ニテ初二法性法身ヲ

釋スコノ一如ヨリカタチアラハシテ等トハ次ニ方便法身ヲ釋ス コノ
 誓願ノナカニ光明无量ノ本願等トハ真佛土卷ニ明ストコロノ光壽无量ノ
 覺躰ヲ成シタマヘルハ十二三ノ光壽无量ノ誓願ヨリ發ル然ルニ此光壽ニ
 无量ノ中ニ於テ化他ノ大用ノ勝レタルニ約シテ光明ニ就テ天親菩薩ハ盡
 ト方无尋光如來ト名ケタマヘリ コノ如來スナハチ誓願ノ業回ニムクヒ
 タマヒテトハ彌陀ヲ報身如來ト名クル由レヲ示ス即チ光壽无量ノ誓願
 ノ業回ニ酬報スルカ故ニ報身ト名クルナリ コノ報身ヨリ等トハ一座无
 移亦不動ノ報身佛ヨリ衆生攝化ノ為ニ應身化身等ノ无量無數ノ身ヲ
 示現シテ十方界ニ无尋ノ光明ヲ放チタマフ能出ノ佛无尋光ヲ放ツカ故ニ
 所出ノ應化身ノ放ツトコロモ亦无尋ノ智慧光ナリ ヒカリノ御カタチニ
 等トハ无尋光佛ハ理智不二ノ佛身ナルコトヲ示ス是ハ法性法身ハ理ナリ
 方便法身ハ智ナリ然ルニ論註ニ此ニ法身異而不可分一而不可同トア

リテ唯識家ノ理ニ无為智ハ有為ト立ル單理法身ノ所設ニ異ナリ華嚴
 家ノ理智合藏ノ真如ヲ立ルニ同シク一種ノ法ハ非一非異ナリ此意ヲ以
 テ今ノ文ヲ解スヘシ ヒカリノ御カタチトハ无尋光佛ハ光明无量ノ相
 好ト云コトナリ イロモミシマサスカタチモミシマサストハ報身佛ニ相好
 莊嚴アリトイヘトモ凡夫ノ思フカ如キ有為生滅ノ形色ナキコトヲ示スコ
 レ无上涅槃ノ佛果ノ相ナリ義章十八四離於十相名為涅槃謂離色聲
 香味觸相生住滅相男相女相トアリ スナハチ法性法身ニオナレクシテト
 ハ法性法身ハ无相ノ故ニ相ヲ現スコレ方便法身ハ相ニシテ无相ナリ法
 性法身ハ无相ニシテ相ナリ故ニ二法身ハ異ニシテ同ナル相ナリ此義論註
 下四廣略相入ノ文ニ就テ知ルヘシ 无明ノヤミヲハラヒ等トハ知ルヘシ
 无尋ハ有情ノ惡業煩惱ニサハラレス等トハ銘文本八ノ如シ
 隨緣雜善惡難生トイフハ隨緣ハ衆生ノオノノ縁ニシタカビテモロクノ善

ヲ修スルヲ極樂ニ廻向スルナリスナハチ八万四千ノ法門ヲウケルコトハミナ自カノ
 善根ノ元ニハニ實報土ニムレストキアラハル、ユヘニ恐難生トイヘリ恐ハオウ
 トイフ實報土ニ雜善自カノ善ムルトイフコトヲオソル、ナリ難生ハムレ
 カタシトナリ 一釋第二句 上ニ辨スル如ク當段ノ四句ノ中上ノ二句ハ
 阿彌陀經ノ不可以少善根福德因緣得生彼國ノ意ナリ中ニ於テ上ノ句
 ハ彼國ノ二字ニ當リ此一句ハ不可以少善根福德因緣得生ニ當ル 隨緣ハ
 衆生ノオノノ縁ニシタカヒテトハ諸宗ノ人各々自己ノ縁ニ隨フテ
 種々ノ善根ヲ修シテ極樂ニ往生セント廻向スルコトニテ其所修ノ行跡ハ
 八万四千ノ法門該攝スルニ準六度ナリ是ハ禿鈔下四上末一切定散
 諸善悉名雜行乃至是々發願行亦名廻心行トアル文ニ照シテ見ルヘシ
 コレハミナ自カノ善根等トハ自カノ善根ハ化土ノ目トハナレトモ報土ノ
 目トハナラス散善義ニ欲廻此雜善之行求生彼佛淨土者此必不可也

トアルハ此意ナリ恐難生トハ散善義ノ此必不可也ノ意ナリ

故使如來選要法トイフハ釋迦如來ヨロツノ善ノナカヨリタ名號ヲエラヒトリ
 テ五濁惡時惡世界惡衆生邪見无信ノモノニアタヘタヘルナリトシルヘシコ
 ヲ選トイフヒロクエラフトイフコトナリ要ハモハラトイフチキルトイフナリ
 法トイフハ名號ナリ 三釋第三句 是ハ下ノ句ト一連ノ文ナリ此下ノ二
 句ハ執持名號一日七日ノ念佛ノ經意ナリ即チ選要法トハ執持名號
 ナリ專復專トハ一心不亂ナリ釋迦如來等ヨロツノ善トハ万善万行ナリ
 五濁惡時等トハ散善義ニ出ル言ニテ五濁トハ總ナリ惡時トハ劫濁ナ
 リ惡世界トハ娑婆國土トアリ惡衆生トハ衆生濁ナリ邪見无信トハ見
 濁ナリ其邪見无信ノ相ハ法事讚下九五濁増時多疑謗等トアリアタ
 ヘタヘルトハ執持名號一心不亂トハ往生ヲ得ルト勸メタマフコトナリ コレヲ選ト
 イフ等トハ廣ク万善諸行ノ中ヨリ念佛ノ一行ヲ選ヒ取りテ勸ムルコトナ

リ要ハモハフトイフトハ專要ノ義ニテ往生ノ行ニ念佛ヲ專要トスルコトチキルトイフトハ要約ノ義ニテ念佛ヲ往生ノ行ト約束シタマフコトナリ

教念彌陀專復專トイフハ教ハオシフトイフノリトイフ釋尊ノ教勅ナリ念ハ心ニオモヒサタメテトモカクモハタラカヌコトナリスナハチ選擇本願ノ名號ヲ一向專修ナレトオシヘタマフミコトナリ 四釋第四句ニ 初上四字

教ハオシフトイフノリトイフ等トハ知ルヘシ 念ハ心ニオモヒサタメテ等トハ念ノ字ヲ憶念ノ義トシ信心決定シテ行者ノ計ビヲ離レタルコトハシタマフ スナハチ選擇本願ノ名號ヲ一向專修ナレトオシヘタマフミコトナリトハ教念彌陀ノ意ヲ述成スル言ニテコレ執持名號ノ相ナリ即チ本願ヲ信シテ名號ヲ稱フルコトナリ一向專修ノコトハ證丈六ニ出ルカ如シ 專復專トイフハハシメノ專ハ一行ヲ修スヘシトナリ復ハマタトイフカサヌトイ

フシカレハマタ專トイフハ一心ナレトナリ一行一心ヲモハラナレトナリ專ハ一トイフコトハナリトモカクモウツルコトナキヲ專トイフナリコト一行一心ナルビトヲ彌陀攝取シテステタマハサレハ阿彌陀トナツケタマツルト光明寺ノ和尚ハノタマヘリ 二下三字ニ 初正釋二字 コノ專復專トハ一心不亂ノ意ニテ小本ノ一心ハ化巻ノ判釋ノ如ク隱顯ノ差別アリテ顯ニハ自力隱ニハ他力ナリ然ルニ今ハ隱彰ノ實義タル他力ノ一心ナリ此他力ノ一心ハ大行ニ離レサルカ故ニ行ト信トヲ並ヘ舉テ示シタマフ 專復專トイフハ等ト專ノ字ニ字アリ初ノ專ハ念佛ノ一行後ノ專ハ他力ノ一心ナリ何レモ純ニ无雜ナルカ故ニ專ト云ナリ復ハマタトイフカサヌトイフ等トハ復ハ復重ノ義物ヲ累ヌルコトニテ即チ行ト信ト其相差別スルコトヲ顯シタマフトコロナリ 專ハ一トイフ等トハ專ヲ專ニ无雜ノ義ト釋ストモカクモウツルコトナキヲ專トイフナリトハ化巻ニ執言篤心堅牢而

唯信金剛經疏

三十一 請法館藏

不移轉也持言名不散不失也トアルト同意ニテウツルコ、ロチキトハ心ノ
 餘境ニ移轉セサルコトニテ餘行餘佛ニ思ヒテ係テサルコトナリ略本ニ執
 持即一心トアレハ執持ノ釋即一心ノ釋ナリト知ルヘシ コノ一行一心ナル
 ビトヲ等トハ利益ヲ舉テ結ビタマフ此光明寺ノ和尚ハノタヘリトハ禮讚
 大彌陀經及觀經云ト標シテ唯觀念佛衆生攝取不捨故名阿彌陀トア
 ル文ヲ指シタマフ此阿彌陀ノ名義タル攝取ノ利益ハ一向專修一行一心ノ
 人ノ所得ニテ小本ノ執持名號一心不亂トハ即觀經ノ念佛衆生ノコトナ
 リ其義知ルヘシ

コノ一心ハ横超ノ信心ナリ横ハヨコサマトイフ超ハコエテトイフヨロツノ法ニスタレ
 テスミヤカニトク生死ノ大海ヲコエテ无上覺ニイタルユヘニ超トマフスナリスナハ
 子如來大悲ノ誓願力ナルカユヘナリコノ信心ハ攝取ノユヘニ金剛トナルコレハ念
 佛往生ノ本願ノニ信心ナリ觀經ノニ心ニアラスニ廣願一心相四 初明

横超他力信相 是ハ小本ノ執持名號ノ一心其隱彰ノ實義ハ大經ノ三
 信ト同シク横超他力ノ信心ナルコトヲ示シタマフ 横超ノコトハ銘文本紙五
 ニ委シク出テタルカ如シ ヨロツノ法ニスタレテ等トハ彌陀ノ本願ノ超
 勝ニシテ速疾ノ利益アルコトヲ示ス コレスナハチ如來大悲ノ誓願力ナル
 カユヘナリトハ横超ノ力用アル由ヲ成シタマフ コノ信心ハ攝取ノユヘニ金剛心ト
 ナルトハ既ニ銘文ニモ出テタルコトニテ末燈鈔ハナニ金剛ノ信心ノサタムルト
 マフスモ攝取不捨ノユヘニマフスナリ、アルニ同シク彌陀ノ攝取ノ利益ニヨ
 リテ行者ノ信心金剛堅固ナルコトヲ得ルナリ コレハ念佛往生ノ本願ノ三
 信心等トハ上ニ明ストコロノ横超他力ノ一心ハ即大經ノニ信ト同一ナルコ
 トヲ示シタマフ觀經ノニ心ニアラストハ觀經ノニ心ハ頭說ニ約スレハ定散
 自カノニ心ナルカ故ニ其義異ナルコトヲ示シタマフ
 コノ眞實信心ヲ世親菩薩願作佛心トタマヘリコレ淨土ノ大菩提心ナリカ

レハコノ願作佛心ハスナハチ度衆生心ナリコノ度衆生心トラスハスナハチ衆生
 ヲシテ生死ノ大海ヲワタスコ、ロナリコノ信樂ハ衆生ヲシテ无上大涅槃ニイタ
 ラシムルコ、ロナリスナハチ大慈大悲心ナリコノ信心佛性ナリスナハチ如來ナリ
 二明淨土大菩提心 是ハ畧本ニ一心ヲ轉釋シテ大菩提心願作佛心度
 衆生心トノタマフト同意ニテ横超他力ノ作用ヲ示ス菩提心ニ付キ鸞師ト
 黒谷ノ所明異ナルコトハ三經文類ニテ辨シタルカ如シサテ此一段ノ據ハ論
 註下^{二十}此无^一菩提心即是願作佛心願作佛心即是度衆生心トアリ是ハ
 菩提心ニハ上求下化ノ徳アリ之ヲ開ケハ願佛度生ノ心トナル即チ願作
 佛心ハ自利ナリ度衆生心ハ利他ナリ此下ノ釋相ヲ同フニ眞實信心ヲ世
 親菩薩自ラ願佛度生ノ菩提心ナリトノタマヒタルヤウニ見ユレトモ是ハ
 鸞師ノ釋ニシテ淨土論ニ出ルニ非ス然ルニ此論註ノ釋ハ能論意ヲ得タ
 フカ故ニ世親菩薩ノ釋トシタマヘリ例セハ止觀五之四^三大品云留餘

殘習以誓願カトアリ然ルニ此文大品般若ニナシ是ハ智論ノ文ナレトモ智
 論ノ釋能證意ヲ得タルヲ以テ大品云ト標スルカ如シ此下ノ釋眞實信心
 ヲ願作佛心大菩提心ト轉釋シ次ニ其願作佛心ヲ度衆生心ト轉釋シ
 タラフコノ度衆生心トラスハ等トハ此度衆生心トハ還相廻向トトハ
 非ス往相廻向ノ中ノ利他ノ相ニテ五念門ニテハ第五ノ廻向門ノ相ナリ
 故ニ此度衆生心トハ自信ノ上ノ教人信ノ相ニテ衆生ヲシテ生死ノ大海
 ヲ超度セシメ无上涅槃ヲ證得セシムル徳用アリ是即チ流轉ヲ救濟シ
 還滅ニ趣向セシムル相ナリ然ルニ此度衆生心ノ釋ハ論註ニ度衆生
 心即是攝取衆生有佛國土心トアル意ナリ有佛國土トハ安樂淨土
 ニテ往生即成佛ノ利益アレハ生死ヲ解脱スルコト勿論ナリ 次ニ大慈
 大悲心ナリトハ廣本ニ一念ヲ轉釋シテ大慈悲心トタマフニ同シ此大
 慈悲心トハ度衆生心ノ相ニテ衆生ヲ救苦與樂セシメント思フ所ノ作

用ナリ コノ信心佛性ナリ等トハ涅槃經ノ説ニテ信卷ニ引キテア
リ此義ハ此鈔左ニテ出テタルカ如シ

コノ信心ヲウルヲ慶喜トイフ慶喜スルヒトハ諸佛トヒトシキヒト、ナツ
ク慶ハウヘキコトヲエテフチニヨロコフコ、ロナリ信心ヲエテノチニヨロコフ
コ、ロナリ喜ハコ、ロノウチニツ子ニヨロコフコ、ロタエスシテ憶念ツ子ナル
ナリ踊躍スルナリ踊ハ天ニオトルトイフ躍ハ地ニオトルトイフヨロコフコ、ロ
ノキハマリチキカタチヲアラハスナリ信心ヲエタルヒトハ芬陀利華ニタトヘタマ
ヘリ 三明大慶喜心 是ハ大證ニ見敬得大慶トアリ淨土讚ニハ一念慶
喜トアリテ信ノ一念ニ具スルトコロノ喜ヒニテ信後ニ相續スルナリ然
ルニ歡喜モ同シク一念ノ信心ニ具スルトコロノ作用ナレトモ且ク差別
アリ慶喜ハ已得ノ正定聚ヲ喜フ方歡喜ハ當得ノ滅度ヲ喜フ方ナ
リ和讚ニ慶喜ノ方ニハ往生カナラスサタマリヌトアリ又歡喜ノ方ニ

ハカナラス滅度ニイタラシムトアリ御一代記此義ヲ明シテアリ慶
喜スルヒトハ諸佛ニヒトシキヒト、ナツクトハ信卷御引用ノ華嚴經ニ歡
喜信心無疑者速成无上道與諸如來等トアル文ノ意ニテ經文ノ當相ハ
華嚴ノ法ヲ聞信シタル利益ナリ今吾祖ハ轉用シテ十八願成就ノ終意
ト同義トシテ諸佛トヒトシキトハ即得往生住不退轉ノ意ニテ其覺
不退ノコトナリ末燈鈔ニ釋アリ披クヘシ慶ハウヘキコトヲエテノチニ
ヨロコフ等トハ慶喜ノ二字ヲ離釋シタマフ此慶喜ト歡喜ノ別ハ證文
ニ歡喜ハウヘキコトヲエテムストサキタチテカ子テヨロコフコ、ロナリトア
リ是當得ノ滅度ヲ喜フ方ナリ今ノ慶喜ハ已得ノ正定聚ヲ喜フ方ナ
リウヘキコト、ハ正定聚ノコトナリ信心ヲエテノチニヨロコフトハ信後相
續ノ喜ヒニ非スノチトハアレトモ信ノ一念同時ノ後ナリ喜ハコ、ロノ
ウチニ等トハ是ハ證文ニ歡喜ノ左訓ニ身ノ歡ヒト心ノ喜ヒトニ分チ

タミフカ如ク今モ慶喜ノ二字ヲ身心ニ分ツ意ナリ然ルニ此慶喜ノ
 釋慶ノ字ノ下ニ歡喜トノ異ヲ明シ喜ノ字ノ下ニ心ノ喜ビナルコト
 ヲ示シテ自ラ慶ノ字ハ身ノ慶ビナルコトヲ知ラシメタマフナリ 憶念
 ノコトハ此鈔紙^十ニ出テタルカ如シ 踊躍スルナリ等トハ此踊躍ノ釋ハ
 證文^{十二}ニ出テタリ 信心ヲエタルヒトハ芬陀利華ニタトヘタマヘリトハ
 觀經ノ流通^三是人中分陀利華トアリ此觀經流通ハ正宗分ノ定散ノ
 諸行ヲ廢シテ弘願ノ念佛ヲ説キタマフカ故ニ大經ト同一ナリ故ニ信卷^三
 之ヲ引キタマヘリ六要五^{十一}釋アリ然ルニ觀經ニテハ念佛行者ヲ分陀利
 華ト譽メタマヘトモ今ハ信心ノ人ヲ嘆スルコトトシタマフ分陀利華トハ
 蓮華ナレトモ通常ノ蓮華ニ非ス華嚴音義^{一十一}芬陀利此云百蓮華亦
 曰百葉華トアリ散華義^九此分陀利華ヲ人中ノ好華希有華上々華
 妙好華慈華ト釋シ之ヲ人中ノ好人妙好人上々人希有人最勝人トノ

タマヒ選擇集末^八ニハコレヲ五種ノ嘉譽ト名ケテアリ此諸佛稱讚
 ノ言ヲ出スハ衆苦充滿ノ娑婆界ニ在リテラ信心決定シテ慶喜ス
 ルコトハ希有ナルコト芬陀利華ス如シト示シタマフ意ナリ

コノ信心ヲエカクキコトヲ大經ニハ若聞斯經信樂受持難中之難无過此難
 トオシヘタマヘリ小經ニハ極難信法トミヘタリコノ文^ノハコノ經ヲキテ
 信スルコトカクキカナカニカタレコレニスキテカクキコトナリ釋迦牟
 尼如來五濁惡世ニイテ^ノ難信ノ法ヲ行シテ无上涅槃ニイタレリトキ
 タマフサテコノ智慧ノ名號ヲ濁惡ノ衆生ニアタヘタマヘリ十方諸佛ノ證誠
 恒沙如來ノ護念ヒトニ眞實信心ノヒトヲタメナリ 四明信心難獲相^三

初出文述義 是以前來所明ノ眞實信心ノ獲難キコトヲ明スニ付キ大
 經小經ノ二文ヲ引キ其經意ヲ述ル一段ナリ 大經ハ流通ノ文ニテ信樂
 受持トハ弘願ノ信樂ヲ獲得スルコトナリ難中之難トハ難信ノ中ノ難信

ト云コトニテ上ノ難ハ相對ノ難下ノ難ハ絶對ノ難ナリ相對ノ難トハ華嚴
 天台ノ法モ難信ナリ彌陀ノ本願モ難信ナリト云コト絶對ノ難トハ難信
 ノ法ハ彌陀ノ本願ニ限ルト云コト无過此難トハ此ノ以經所說ノ法ヲ指ス
 難トハ上ノ絶對ノ難ヲ承ケタル言ナリ然ルニ何故彌陀ノ本願ハ難信ナリ
 ヤト云ニ信卷ニ元照寺ノ釋ヲ引テ示シタマフカ如ク彌陀ノ本願ハ斷惑
 證理ノ佛法ノ通軌ニ異ナリ一毫未斷惑ノ凡夫ヲ速ニ成佛スルコトハ一
 代諸教ニ超過スル不可思議ノ法ナルカ故ニ難信ト云意ナリ 次ニ小經
 ノ極難信法トハ弘願一乘ナリ難信ノ相ハ上ノ如シ コノ文ノコノ口ハ等ト
 ハ上ノ二文ノ意ヲ釋ス中ニ於テ大經ノ文ノ意ハ知ルヘシ 次ニ釋迦牟尼如
 來等トハ阿彌陀經ノ文ノ意ナリ是ハ經文ノ我於五濁惡世行此難事得
 阿耨多羅三藐三菩提トアル一段ノ釋ナリ然ルニ經文ノ當意ハ行此難
 事トハ上ノ段ニ說ク所ノ濁世成佛ト說難信法トノ二ノ難事ヲ指ス然ル

ニ今ハ此難事トアルヲ極難信ノ法タル弘願一乘トシ釋尊此法ヲ修行
 シテ阿耨菩提ヲ得ルトノタマヘル文トシタマフ此時ハコノ難事ト云ハ上
 ノ二ノ難事ノ中ノ第一ノ難事ヲ承ケタマフ言トナル此意ナレハ釋尊ノ
 回行モ唯此弘願念佛ノ一行ニシテ般舟經ニ三世諸佛依念佛三昧
 成等正覺ト說キタマフト同意ニシテ我此難信ノ法タル念佛三昧ヲ行
 シテ佛果ヲ成セリト說ク又トナル是今家別途ノ義ナリ サテコノ
 智慧ノ名號ヲ濁惡ノ衆生ニアタヘタマヘリトハ為一切世間說此難信
 之法トアル文ノ意ナリ智慧ノ名號トハ難信ノ法タル念佛ノコトナリ濁
 惡ノ衆生ニアタヘタマヘリトハ釋尊五濁惡世ノ衆生ヲタメニ說キ與ヘタ
 マフコトナリ 十方諸佛ノ證誠等トハ難信ノ相ヲ示シタマフ是ハ正像
 未讚ニ眞實信心ウルコトハ末法濁世ニマレナリト恒沙ノ諸佛ノ證誠ニエ
 カタキホトヲアラハセリトアルト同意ニテ若シ獲易キ信心ナレハ諸佛

ノ證誠ニハ及ハス然ルニ五濁増時多疑謗ナレハ容易ニ信シ難シ故ニ諸佛ノ證誠アルコトナリ此證誠護念ノコトハ此鈔ハニテ辨シタルカ如シ釋迦ハ慈父彌陀ハ慈母ワレラカチハハトシテ信心ヲオシヘタマヘリトレレヘキナリ 二約ニ尊慈悲 此一段ノ文勢ハ既ニ此鈔ニ出テタルカ如シ然ルニ今ノ意ハ信心ノ獲難キコトヲ頭ス自カノ智慧ヲ以テ獲ル信心ナレハ得易スケレトモニ尊ノ御方便ニ由リテ得ル信心ナルカ故ニ疑心自カノ行者ハサルコト難キナリ

過去久遠ニ三恒河沙ノ諸佛ノ世ニイテタマヒシモトニテ自カノ大菩提心ヲオコシキ恒沙ノ善根ヲ修セシメシヨリテイマ大願業カニマフアフトエタリ他カノ三信心ヲエタラシヒトハユマノ餘ノ善ヲソレリ餘ノ佛聖ヲイヤシラスルコトナカレトナリ 三約值佛目錄 是ハ宿善開發ノ機ニ非サレハ信心ヲ獲ルコト能ハス故ニ難獲ナリト示シタマフ此三恒河佛

ノ發心ノコトハ北本涅槃六^九ニ出テ、安樂集上^四ニ引ケリ此三恒河沙ノ諸佛トハ一佛々々ノミモトニ於テ值フ度コトニ菩提心ヲ發シタル積リ擧ケタル數ナリ章安涅槃疏十二^十值一佛發一願下一沙雖過多佛不發願不^下沙雖發心不見佛不^下沙雖見一佛多發心只下一沙雖一發心見多佛亦只下一沙以如此類令滿一恒是為一恒トアリ之ニ付正像末讚ニモ三恒值佛ノコトヲ明シタマヘトモ其意異ナレリ彼ハ自カノ菩提心ノ發シ難キコトヲ頭シ今ハ彌陀ノ本願ヲ聞信スルハ三恒值佛ノ宿善ノ頭レナリト示ス意ナリ 大願業カトハ玄義分^三ニ出ル言ニテ大願業カトハ大願カト大業カトナリ大願カトハ四十八願ナリ大業カトハ業ハ造作ノ義ニテ非載永劫ノ修行ノコトナリ爾レハ大願業カトハ目位ノ願行ニ由リテ成シタマヘル名號ノコトナリ 他カノ三信心ヲエタラシヒトハ等トハ信決定ノ上六餘善餘佛ヲ輕賤スヘカラスト誠メタマフコトナリ何故ナレハ餘ノ

唯信論卷之三

三十一 獲法信儀

善ヲ修シ餘ノ佛菩薩ヲ供養セシテ緣トシテ彌陀ノ本願ニ歸入セシコトナレ
ハ往生淨土ノ為ニ念佛ノ一行彌陀一佛ヲレトモ争テカ餘善餘佛ヲ謗ルノ
理アレシヤ 佛聖トハ佛ヲ大聖ト名クルコトアレトモ今ハ聖ノ中ニハ菩薩
ヲモ攝スルナリ

具三心者必生彼國トイフハ三心ヲ具スレハカナラスカノクニ、ムルトナリ
四釋具三心者文三 初正明信心為先二 初出文釋意 是ハ觀經九
品ノ中上々品ノ初ニ出ルニテ散善義ニ辨定三心以為正回トアリテ
往生ノ正回ハ信心ニアルコトヲ説キタマフ而シテ此三心ハ上々品ニアリテ
下ノ九品ニ通シ又上ノ定善十三觀ニ通ス若シ定散ノ諸行ヲ修ストモ
三心ヲ具セスハ往生ノ行業ヲ成セサルナリ此三心ニハ自力他カノ差別ア
リ其故ハ定散ノ諸行ニ具スル三心ハ自力ナリ弘願ノ念佛ニ具スル三心ハ
他カナリ委シクハ散善義ニ釋アリ畧シテ此文ノ意ヲ知ラント欲セハ次

下ノ釋ニテ伺フヘシ

シカレハ具此三心必得往生也若少一心即不得生トノタマヘリ 一引善導釋
二 初引文 是ハ禮讚^紙ニ三心釋ノ結文ナリ選擇集三心章ニハ散善
義ト禮讚ノ三心釋ヲ引キ己リテ御私釋ニ所引三心者是行者至要也
等ト其意ヲ述ヘテアリ尚此文ノ意ハ次ノ御釋ニテ知ルヘシ

具此三心トイフハミツノコ、ロヲ具スヘシトナリ 一迷意四 初釋具此三
心 ミツノコ、ロトハ至誠心深心廻向發願心ナリ此三心ノコトハ散善
義ニ委シキ釋アリ自カト他カノ別アリ吾祖ハ隱顯ヲ以テ判シタマフ
所ナリ

必得往生トイフハ必ハカナラストイフ得ハウルトイフウルトイフハ往生ヲウ
ルトナリ 二釋必得生也 是ハ三心ヲ具スレハ必定シテ往生ヲ得ル
ト云コ、ロ經文ノ必生彼國ノ意ナリ而シテ此必字ハ易行品ヨリ

出テ得往生ハ第十八願成就ヨリ出ルコト知ルヘシ

若少一心トイフハ若クモシトイフコトシトイフ少ハカクルトイフスナレトイ
 フ一心カケヌレハムヤル、モフナレトナリ一心カクルトイフハ信心ノカクルナ
 リ信心カクルトイフハ本願眞實ノ三信心ノカクルナリ觀經ノ三心ヲエテ
 ノチニ大經ノ三信心ヲウルヲ一心ウルトハイフナリコノユヘニ大經ノ三信ヲ
 エサルヲ一心カクルトイフナリ 三釋若少一心 若クモシトイフ等トハ先略
 シテ若少一心ヲ釋シ即不得生ノ意マテ引上テ示シタマフ一心カクル
 トイフハ等トハモト此文ハ吾祖信化兩卷ニ引イテアリ故ニ觀經ノ隱顯三
 義ニ通ス之ニ由リテ若少一心ノ一心トハ顯ノ義ニ約セハ三心ノ中ノ隨
 一ナリ隱ノ義ニ約セハ他カノ一心ナリ高僧讚ニモ此文ノ意ヲ明シテ
 眞實信心エサルヲハ一心カケヌトオシヘタリ一心カケタルヒトハ三ナ三
 信具セストオモフヘシト隱ノ義ニ約ス今モ同シク隱ノ義ニ約シテ明シ

タマフ故ニ一心カクルトイフハ信心ノカクルナリト釋ス此信心トハ禮讚
 ニ眞實信心トアル願成就ノ信心ナリ故ニ願成就ノ信心ノ關ルモノナ
 レハ本願眞實ノ三信ノ關ルコト勿論ナリ觀經ノ三心ヲエテノチニ大經
 ノ三信心ヲウル等トハ觀經ノ三心ハ要門ヨリ弘願ニ入ラシメシカ爲ニ
 説キタマハル方便ナレハ漸教廻心ノ機ハ先初三觀經願説ノ自力ノ三
 心ヲ發シシレヨリ後ニ廻心シテ弘願ニ入り大經ノ三信ヲ得ル其三信
 即一心ナレハ三信ヲウルヲ一心ヲウルト云ナリ亮鈔下三十一按觀經三心
 往生者是則諸機自力各別之三心也為歸大經三信也等トアリ知ルヘシ
 コノユヘニ大經ノ三信ヲエサルヲ一心カクルトイフナリトハ三信ト一心
 トハ關合ノ異ナレハ開キタル三信ノ關ケタル者ナレハ合シタル一心モ關
 ルコト勿論ナリ

コノ一心カケヌレハ實報土ニムレストナリ觀經ノ三心ハ定機散機ノ自力ノ

心ナリ定散ノ一善ヲ廻シテ大經ノ三信ヲエント子カノ方便ノ深心ト至誠心トシルヘシ眞實ノ三信心ヲエサレハ實ノ報土ニムレヌ眞ノ報土ニムレサレハ即不得生トイフナリ即ハスナハチトイフ不得生ハムルコトヲエストイフナリ定機散機ノヒト雜修シテ三信心カケタルニ多生曠劫ヲヘテ三信心ヲエテノチニムルヘキユニスナハチムレストイフナリモ胎生邊地ニムレテモ五百歳ヲヘアルヒハ億千萬衆ノナカニトキニレニ一人コトノ報土ニハスムトミハタリ三信心エンコトヲヨククコトヲエ子カフヘキナリ 四釋即不得生

コノ一心カケヌレハ實報土ニムレストハ上ヲ承テ下ヲ起ス言ナリ觀經ノ三心ハ定機散機ノ自カノ心ナリ等トハ觀經ノ三心ハ定散自カノ所發ナルコトヲ明スコレ頭ノ義ナリ 定散ノ一善ヲ廻シテ等トハ前二引ク爲鈔ノ次下ノ文ニ勸誘諸機欲使通入三信也トアル意ニテ觀經頭說ノ自カノ三心ハ大經ノ他カノ三信ニ通入令メシカ爲ノ方便ナルコトヲ示シタマフ然レニ其又勸ヲ同ノニ觀經ノ三心ヲ逆次ニ前後ニ置キ中間ニ大經ノ三信ヲ挿ミタマフ 定散ノ一善ヲ廻シテトハ自己所修ノ定散ノ諸善ヲ往生ノ目ト廻向スルコレ自カノ廻向發願心ノ相ナリ然ルニ自カノ三心ノ中廻向發願心ヲ初二舉ケタマフハコノ廻ノ字ニ弘願ニ廻入スル意ヲ含カ故ニ大經ノ三信ノ前ニ舉ケタマフナリ 大經ノ三信ヲエント子カフトハ行者ノ樂欲ナリ 方便ノ深心ト至誠心トハ自カノ深心ト至誠心ナリ 上ニ廻向發願心ヲ舉ケタマフカ故ニ今深心至誠心ト逆次ニ列子タマヘルナリ 眞實ノ三信心ヲエサレハ實ノ報土ニムレヌ等トハ即不得生ノ義ヲ述ヘテ結成シタマフ 即ハスナハチトイフ等トハ即不得生ノ名義ヲ釋シタマフ 次ニ定機散機ノヒト等トハ即不得生ノ相ヲ明スニ付キ初ハ目ニ約シ次ハ果ニ約ス初ニ目ニ約ストハ定散ノ機類雜行雜修シテ往生ノ目ト廻向スレトモ他カノ三信ヲ得サルカ故ニ眞主ノ往生ヲ遂難シ其雜

行モ容易ニ成シ難キカ故ニ順次ノ生ニ化スヲ往生モ得難シ故ニ多生
 曠劫スヘテ定散ノ諸行ヲ修スレトモ其行ニ成シ難キコトヲ知り遂ニ自力
 ヲ廻シテ他カニ入り遂ニ他カノ三信ヲ得テ真土ニ往生スヘキカ故ニ即
 不得生ト云ト示ス意ナリ次ニモシ胎生邊地ニムレテモ五百歳等トハ
 果ニ約シテ即不得生ノ相ヲ示シタマフ胎生邊地ニムレテモ五百歳ヲ
 ヘトハ大經ノ說ニテニ經文類ノ如シ億千萬衆ノナカニ等トハ菩薩處胎
 經ノ說ニテ是モニ經文類ノ如シニ信心ヲエシコトヲヨククコトロエテ
 子カフヘキナリトハ若少一心即不得生ノ理ヲ知ラハ具此ニ心必得生也
 ノ他カノ三信ヲ獲得センコトヲ樂欲スヘシト結勸シタマフナリ

不得外現賢善精進之相トイフハ淨土ヲ子カフヒトハアアハニカシコキスカ
 タ善人ノカタチヲフルハハサレ精進ナルスカタラシメヌコトナカレトナリソノ
 ユヘハ内懷虛假ナレハナリ内ハウチトイフマロノウチニ煩惱ヲ具セルユヘニ

虚ナリ假ナリ虚ハムナシク實ヲラス假ハカリニシテ真ナラス 一示虚假不實機

二 初釋不得外現文 一 初正釋文意 上ノ段ニ往生ノ正回ハ他カノ三
 心ナルコトヲ示シ今ハ凡夫自性ノ虚假不實ノ相ヲ示シ自力ノ信心ハ成
 シ難キコトヲ顯シタマフ是ハ散善義ノ至誠心釋ノ文ニテ信卷ニハ一切群
 生海乃至穢惡汚染无清淨心虚假諛偽无真實心ト述懐和讃ニ淨土真
 宗ニ歸スレトモ真實ノ心ハアリカタシトアルト同意ナリ選擇集本ニ外者對
 内之辭也等ト重々ノ相對ヲ以テ示シタマフ秀鈔下ニ十併セ見ルヘシ約マ
 ルトコロ此又ハ内外不調ヲ誠ムルヨリ外ナシ其所詮ハ内心ニ他カノ信心
 ヲタクハヘテ外相ニ賢善精進ノ相ヲ現スヘカラストニ意ニテ本宗ノ按タ
 ル内心ニ深ク佛法ヲ信シテ外相ニ佛法者ノ相ヲニセヌヤウニフルマシ
 トアルハ此文ヨリ出ルトコロナリ 淨土ヲ子カフヒトハ等トアラハニトハ
 外相ノコトナリ カシコキスカトハ我レ物知り顔ノ風情ナリ善人ノ

カタチトハ殊勝振リナリ精進スルスカタトハ佛法者後世者ノ相タナ
 リシメストハ示現スルコトナリソノユハ内懷虛假ナレハナリトハ
 外相ニ賢善精進ノ相ヲ現スヘカラサル由ヲ述ヘタラコノ内懷虛假トハ
 散善義ノ文ナリ内ハウチトイフ等トハ散善義ニ貪瞋邪偽奸詐百
 端惡性難侵等トアル文ノ意ニテ凡夫ノ自性ハ煩惱具足チハ虛假不
 實ヨリ外チシ虚假トハ眞實ノチキコトナリカハ虚假不實ノ身ナレハ
 外相ヲツクロハス生レツキノマニテ本願ヲ信スヘシト示ス意ナリ
 シカレハイマコノ世ヲ如來ノミノリニ末法惡世トサタメタマヘルユハ一切有情
 トコトノコノロナクシテ師長ヲ輕慢シ父母ニ孝セズ朋友ニ信ナクシテ惡ヲ
 ノミヨノムユハニ世間出世ニナ心口各異言念无實ナリトオシヘタマヘリ心口
 各異トイフハコノロトクチニイフコトニナオノクコトナリ言念无實トイフハコ
 トバトコノロノウチト實ナシトイフナリ實ハコトトイフコトハナリコノ世ノヒト
 ハ无實ノコノロノミニシテ淨キヲチカフセトハイツハリヘツラヒノコノロノミニナリ
 トキコヘタリ世ラスツルモ名ヲコノロ利ノコノロヲサキトスルユヘナリシカレハ善
 人ニモアラス賢人ニモアラス精進ノコノロモナシ懈怠ノコノロノミニシテウチ
 ハムチシクイツハリヘツロフコノロノミニツ子ニシテアコトナルコノロナキ身トシル
 ヘシ一引經說成 是ハ經說ニ據リテ末世凡夫ノ内外不調ノ機相ヲ示ス先
 初二大經ノ意ニ依リタラフ即チ佛告彌勒汝等能於此世等以下五惡段
 ノ經意ナリ イマコノ世ヲ如來ノミノリニ等トハ先且ク佛入滅ノ年代
 フ化卷所引ノ周書異記ノ勳如來涅槃時代當周穆王五十一年壬申ト
 アル說ヲ定量トスレハ廣本御製作ノ時ニテハ二千一百七十三年ナリ又
 此鈔製作ハ廣本製作ヨリ二十三年後ニテ佛滅後二千二百六年ニ置レ
 リ然ルニ安樂集下六十二明所ノ正五像ノ末万ノ說ニ依レハ二千五百
 年ニシテ正像ノ一時ハ盡キテ末法ニ分テ第七百六年ニ此鈔ヲ製作シ

住言口少ノ事

コトヨ 雙去官

タマフカ故ニ今此世ヲ末法惡世トノタマフナリ 一切有情マコトノコハ口
 ナクシテトハ内心ニ真實ノチキコトナリ 師長ヲ輕慢シ父母ニ孝ヒス明
 友ニ信ナクシテハ第四惡ノ下ニ出ル言ナリ 惡ヲノミコノムトハ為惡无
 恥トアリ 世間出世トハ佛法世法ノコトナリ 心口各異言念无實ト
 ハ第二惡ノ下ニ出ルコノ心口各異等ノ經文世ノ中ノ輕躁浮薄ノ状態
 ヲ見ルカ如クニ説キタマフ 心口各異トイフハ等ト具サニ釋シタマフ
 コノ世ノヒトハ无實ノコノロノミニシテ等トハ淨土ヲ願ヒ尔ラ虚偽
 謠曲ノ自性ハ捨テ難キコトヲ示シタマフナリ 次ニ世ヲスツルモ名ノコ
 ノ口利ノコノ口等トハ涅槃經ノ意ニ據リタマフ是ハ北本涅槃三十九我涅槃
 後濁惡世國王荒亂互相抄掠人民飢餓爾時多有為飢餓欲發心出家
 如是之人名為禿人トアリテ末法濁世ノアリサニ轉迷開悟ノ為ニ非ス糊口
 ノ為ニ出家スルカ故ニ名利ノ心ヲ先キトスルナリ 今時世間ノ出家皆然ニ

ナルハチノ實ニアサニシキコトナリ しかレハ善人ニモアラス等トハ上ノ所
 明ヲ總結シタマヘリ其義知ルヘシ

斟酌スヘシトイフコトノアリサニシタカヒテハカラフヘシトイフコトナリ
 二曰釋斟酌ニ享 コノ斟酌スヘシト云言ハ唯信鈔ニテハ今ノ所釋ノ不
 得外現ノ文ノ前ニ具三心者ノ文ト具三心ノ文トヲ舉テ其具三心
 ノ文意ヲ釋スルニ付キ出ル言ニテ文ハ前後スレトモ同シク至誠心ノ相
 ヲ釋スル下ノ文ナレハ今義ヲ以テ當段ニ屬シテ釋シタマフ其義トハ
 唯信鈔ニコノコノロヲアシクコノロエタルヒトハヨロツノコトアリノヘ
 ナラスハ虚假ニナリナムストテ身ニトリテハハカルハチカニシキコト
 ヲモ入ニアラハシシラセテカヘリテ放逸无漸ノトカラマ子カントス乃
 コトニヨリヲリニシタカヒテフカク斟酌スヘシトアリ内懷虚假ノ身タリ
 下ラ強チニ賢善精進ノ胡ヲ現スヘカラストアルヲ心得誤リ造惡苦シ

カラスト放逸无漸ノ邪見ニ陥ルモアリ其者ノ為ニ浄土ヲ願フニ就
 テハ内外不調ヲ誠ムトイヘトモワサト罪惡ヲ犯シ惡行ヲナスカ如キハ
 アルマシキコトナレハ深ク之ヲ斟酌シテ邪見ニ墮スヘカラスト誠ムル意
 ナリ斟酌トハ唯信鈔ノ左訓ニハカフコトナリトアリ此斟酌ノ文字
 ハ晉書及ヒ國語等ニ出ル斟酌ハ取也酌ハ行也トアリテ其ヨキホトヲク
 ミトリテ行フコトナリ爾レハ佛法者後世者ノスカタヲ見セヌヤウニセヨ
 トアルヲ心得アヤマリテ无漸无愧ノ振舞ヲナスハアルマシキコトナレハ
 深ク慎ムヘキナリ

不簡破戒罪根深トイフハモロクノ戒ヲヤフリツミフカキヒトヲキラハスト
 ナリコノヤウハカミニクハシクアカセリヨクミルヘシ 三誠行者其計 此文ハ
 吾祖自ラコノヤウハカミニクハシクアカセリヨクミルヘシト仰ラレタレハ既ニ此
 鈔ニ出テタル五會讚ノ一句ナリ然ルニ此一句ヲ重クテ爰ニ出シタマフハ

何ノ意ツヤト云ニ吾身ノ罪業ノ深重ニ心ヲカケテ本願ノ不思議ヲ信シ
 兼テ居テ凡夫自カノ計ヒヲ止メシカ為ナリ唯信鈔ニハムテシク身ヲ
 卑下シテニロラ怯弱ニシテ佛智不思議ヲウタカフコトナカレト云
 ヒ同ニハ佛力无窮ナリ罪障深重ノ身ヲオモシトセス佛智无邊ナ
 リ散亂放逸ノモノヲモスツルコトナシトアルニテ知ルヘシ是ハ和燈ニ
 ハ穢ノ深信ノ相ヲ釋シテ正ク彌陀ノ本願ノ念佛ヲ修シナカラモ猶心
 ニ若シ貪欲瞋恚ノ煩惱ヲモ起シ身ニ自ラ十惡破戒等ノ罪業ヲモ犯
 ス事アラハ猴ニ自身ヲ怯弱シテ返リテ本願ヲ疑惑シナレシ乃至我
 等如キ煩惱ヲモ斷セス罪惡ヲモ造レル凡夫ナリトモ深ク彌陀ノ本願ヲ
 信シテ念佛スルハ十聲一聲ニ至ルマテ決定シテ往生スル旨ヲ釋シタマハ
 ナリトアルト同意ナリ

乃至十念若木生者不取正覺トイフハ選擇本願ノ文ナリコノ文ノコトハ乃

至十念ノチカビノ名號ヲトナヘシトモシワカクニムレスハ佛ニナラシ
 トチカビタニヘルナリ乃至ハカミシモオホキスクチカキトオキヒサシ
 キミチオサムルコトハナリ多念ニコロヲトメ一念ニトノルコロヲヤメシ
 カタメニ未來ノ衆生ヲスレニテ法藏菩薩カ子テ願シテス御チカビナ
 リヨクノコロウヘシ慶樂スヘキナリ 五釋乃至十念文四初釋乃至十念
 是ハ上ノ段ニ往生ノ正旨ハ唯信心ノミナルコトヲ明シ是ヨリ下ハ其
 信心ハ單信ヲ行ニ非ス他カノ大信ニハ大行ヲ具スルコトヲ明シタニフ
 散善義ノ三心既具ヲ行不成ノ意信卷ノ真實信心必具名號ノ意ナリ
 此乃至十念等ノ文ハ銘文本紙ニ多證文四具ニ出テタルコトナレハ
 今ハ之ヲ畧ス多念ニコロヲトメ一念ニトノルコロヲヤメシカタメ
 ニ等トハ十念ノ上ニ乃至ノ言ヲ添ヘタニハルノ意ヲ示ス是ハ多念ヲ執シ
 テ一念ヲ嫌ヒ一念ヲ執シテ多念ヲ嫌フ偏執ヲ遮セシカ為ニ未來ノ衆

生ヲ憐愍シテ法藏菩薩乃至十念ト願シタマヘリト明シタマフ 慶樂ス
 ヘキナリトハ慶樂ノコトハ一多證文ニ釋アリ今慶樂スヘキナリトハ壽命
 ノ長短ハ前業ノ所感ナレハ如何トモスヘカラス然ルニ上盡一形下至一念ノ
 者マテモ漏シタマハヌ彌陀ノ本願ソト深ク信シテ往生ハ一定ナリト慶
 樂スヘシト勸メタマフナリ

非權非實トイフハ法華宗ノオシヘナリ淨土真宗ノコロニアラス聖道家ノコ
 ロナリ易行道ノコロニアラスカノ宗ノヒトニタツタヘシ 二釋非權非實
 是ハ唯信鈔ニ乃至十念ノ文ヲ舉テ其次ニイマコノ十念トイフニツ
 キテ人ウタカヒヲナレテイハク法華ノ一念隨喜トイフハカク非權非
 實ノ理ニ達スルナリ等ト 願ノ十念ヲ法華ノ一念隨喜ニ同セシメテ十
 念トハ名號ヲ稱フルコトニハ非ス十界平等ノ理ヲ觀スルコトヲ十念ト名
 クト觀念相續ノ義ニ約スル説ヲ舉テ破スルトコロニ出テタル言ナリ此

説ヲ立ル者ハ黑谷門下ノ成覺坊幸西ナリ此人ハモト天台宗ニシテ其
 所立ノ概畧ハ一多證文ノ初ニ辨シタルカ如シ 非權非實トイフハ
 法華宗ノオレヘナリトハ天台宗ノ法門ナレト示ス唯信鈔ニアル如
 ノ法華經科註四十一念隨喜ト云コトアリ一念隨喜トハ非權非實十
 界平等ノ理ニ觀達スルコトニテ古義ニ之ニ^初非權非實而能應於九界
 之權一界之實トアリ權トハ十界ノ中九界ナリ實トハ佛界ナリ然レニ十
 界五ニ十界ヲ具スルカ故ニ十界平等ニシテ九界定ニテ權ニ非ス佛界定
 シテ實ニ非ス此十界平等ノ理ニ觀達スルヲ非權非實ト云フ之ヲ一念
 隨喜ト名ク是ハ法華ノ義ニテ淨土真宗ノコ、ロニアラスト簡ヒタマフ
 淨土真宗ハ觀經ノ具足十念ヲ以テ本願ノ乃至ヲ釋シテ口稱ノ十念トスル
 ナリ 聖道家ノコ、ロナリ等トハ聖淨ニ門難易ニ道理觀ト口稱ト其差
 別アルコトヲ示ス カノ宗ノヒトニタツタヘシトハ非權非實ノコトハ天台

宗ノ人師ニ就テ學フヘシト云コトナリ

汝若不能念トイフハ五逆十惡ノ罪人不淨說法ノモノヤマヒノクレミニトチ
 レレテコ、ロニ彌陀ヲ稱念シタマフハタ、ロニ南无阿彌陀佛トトナヘ
 ヲトス、メタマヘルミノリナリコレハ口稱ヲ本願トチカヒタマヘルヲアラハサン
 トナリ應稱无量壽佛トナマヘルハコ、ロナリ應稱ハトナフヘシトナリ具
 足十念稱南无阿彌陀佛稱佛名故於念念中除八十億劫生死之罪トイフ
 五逆ノ罪人ハソノ身ニツミモテルコト八十億劫タミモテルニハ二十念南
 无阿彌陀佛トトナフヘシトス、メタマヘルナリ一念二十八億劫ノツミヲケス
 ミレキニハアラ子トモ五逆ノツミノオモキホトヲレラセンカタナリ千念トイフ
 ハタ、ロ三十返ヲトナフヘシトナリ 三釋下々品文 是ハ此下々品ノ具足十
 念稱南无阿彌陀佛ノ文ヲ以テ本願ノ乃至十念ハ口稱ノ念佛ナレト云
 シタマフナリ 汝若不能念等トハ散善義ニ^{二十}明善友知苦失念轉教口稱

彌陀名號ト科シタマフコレ善知識ノ勸ムル言ナリ五逆十惡トハ下々品ノ
 機ナリ不淨說法トハ下中品ノ機ナリ而シテ十惡ノ中ニ下上品ノ作衆
 惡業ノ機ヲ攝メテ總シテ下三品ノ惡機ヲ舉ル意ナリ ヤミヒノクニシミ
 ニトチラレテトハ經文ノ此人苦逼ノ意ナリ コノ二彌陀ヲ稱念シタテ
 マツラストハ不能念ノ意ナリ以稱念トハ口稱ノ念佛ニ非ス稱名ノ中ニ
 具スル功德タル十力威徳等ヲ念スルコトニテ觀念ノ念佛ニ非ス稱名
 念佛ノ功德ヲ念スルコト能ハスト云意ナリ タノ口ニ南无阿彌陀佛ト
 トナヘヨトハ經文ニハ應稱无量壽佛トアレトモ四字即六字ニシテ六字
 ノ名號ヲ稱ヘヨト勸ムルコトナリ故ニ次ニ稱南无阿彌陀佛トアリ コ
 レハ口稱ヲ本願トチカヒタマヘルヲアラスサントナリトハ此文ニ應稱无
 量壽佛ト説ケルヲ以テ彌陀ハ口稱ヲ本願ト誓ヒタマヘルコトヲ顯ハサ
 ントノ經意ナリト示シタマフ コノコノ口ハ口稱本願ノ意ナリ 具足

十念等トハ經文ニハ此前三如是至心令聲不絶ノ一句アリ如是至心ハ
 三心ノ中至誠心ヲ舉テ餘ノ二心ヲ攝ス令聲不絶トハ一聲々々ノ間ノ
 斷ヘサルコトナリ然レニ今之ヲ略シタマフハ口稱本願ノ相ヲ明スラシテ
 要トスルカ故ナリ 具足十念等トハ顯説ニ約スレハ散善ノ一分タル自
 カノ念佛ナリ隱彰ニ約セハ弘願ノ念佛ニシテ具足十念稱南无阿彌陀
 佛トアルカ第十八願ノ口稱本願ノ極惡最下ノ機ノ上三願レタル相ナル
 カ故ニ此經説ニヨリ願文ヲ加減シテ西河光明願文ノ乃至十念ヲ稱
 我名號下至十聲トノタマヒ横川ハ極重惡人唯稱彌陀ト示シタマヘリ
 稱佛名故於念々中等トハ十聲ノ稱佛ニ由リテ滅罪ノ益ヲ得ルコトヲ
 説ク文ナリ念々トハ聲カト云ニ同シ 五逆ノ罪人ハソノ身ニツミヲモテ
 ルコト十八十億劫等トハ十念ノ念佛一聲コトニ八十億劫ノ罪ヲ除クカ
 故ニ十聲ニハ十八十億劫ノ罪ヲ滅ス是ハ下々品ノ惡人ハ十八十億劫

生死ノ苦ヲ受クヘキ罪ヲ持テルカ故ニ十聲トナリヨト勸メタマヘルナリ
 一念二十八十億劫ノツミヲケスマシキニハアラフ子トモ等トハ般舟讚ニ
 ハ聲稱念罪皆除トアレハ一聲ノ念佛ニテ无量億劫ノ罪ヲ除カサルニハ非
 サレトモ五逆罪ノ重キコトヲ知ラシメ之ヲ為ニ十念ニテ滅罪スルト説キタマ
 フト云コトナリ 十念トイフハタノ口三十返ヲトナフヘトナリトハ具足
 十念稱南无阿彌陀佛ノ文ヨリ見レハ十念トハ觀念ニ非ス口稱ノ十返ナ
 ルコト明カナリト結ビタマフナリ

シカレハ選擇本願ニハ若我成佛十方衆生稱我名號下至十聲若不生者不
 取正覺トマフスハ彌陀ノ本願ニハ下至トイヘルハ上ニ對シテトコエマテノ衆
 生カナス柱生スレシラセタマヘルナリ念ト聲トハヒトツコロナリ念ヲハナレタ
 聲ナシ聲ヲハナレタル念ナシトシルヘシ 四釋若我成佛又 是ハ禮讚六ノノ受
 ナリ然ルヲ選擇本願ニハトノタマフハ如何ト云ニ善導大師第十八願ノ意ヲ

釋頭シタマフカ故ニ本ニ約シテ選擇本願ト標シタマフ此文ヲ引キタマヘルハ
 本願ノ乃至十念ヲ下々品ノ經説ニ依リテ口稱ノ念佛トスルコトハ私ニ非ス
 光明大師ノ指南ナリコトヲ示ス意ナリ此文行巻御引用并ニ元祖ノ真影
 ノ銘ニ書キタマヘル要文ニテ具サニ回顧成就ノ意ヲ述ヘテアリ其中回顧ノ
 意ヲ明ス前半ノ文ヲ引キタマフ文句ノ意ハ銘文末ニ引釋スルところノ觀
 念法門ハノ文ト同シケレハ釋スルヲ須ヒス然ルニ此文ニ付キ至心信樂欲
 生ノ安心ヲ略スルハ何ノ意ヲヤト云ニ是ハ衆生稱念必得往生下知リヌレハ
 自然ニ三心ヲ具足スル故ニ此理ヲ顯ハサンカ為ニ略シタマヘル也ト云コト
 ハ和燈五ニ十問答アリ尚亦六要ニ三十七問答アリ見ルヘシ 彌陀
 ノ本願ニハ下至トイヘルハ等トハ乃至下下至トナリ同トシタマフ是ハ選擇
 集本ニ乃至五與下至其意是一トナリ 下ハ上ニ對シテ等トハ乃至ヲ從多
 向少ノ乃至ト定メテ見レハ下トハ十聲一聲トハ上盡一形ニテ上盡

一形ノ稱名ノ衆生ヨリ下至十聲一聲ノテノ衆生必ス往生ス不知レモ
タヘル本願ナルコトヲ顯ス釋ナリ 念ト聲トハヒトツコ、ロナリ等トハ
念聲是一ノ義ヲ示ス一段ナリ是ニ付キ以念聲是一ノ釋相ニ差別アル
コトヲ知ルヘシ其故ハ選擇集本九本願ノ十念ト善導ノ十聲ト同一ナル
コトヲ顯スニ付キ念聲是一トアリ其證據ニ觀經ト大集經ヲ引キタマフ
然ルニ今ノ文意ヲ釋及ヒ御一代記ニ念聲是一トイフコトシラストマフ
シヤアラフトキ仰ニオモヒウチニアレハイロホカニアラハ、トアリサ
レハ信ヲエタル體ハスナハチ南无阿彌陀佛ナリトコ、ロウレハ口モコ、
ロモヒトツナリトアルハ元祖ノ釋ニ違スルニ似タリ其故ハ元祖ハ口業ノ
上ニテ念聲是一ヲ談シテ意業ニ関スルニ非ス然ルニ吾祖蓮師ハ意業
ノ信心ト口業ノ稱名トニ就テ信行不離ヲ以テ是一ヲ仰ラルハ如何
ト云ニ是ハ善導元祖ノ幽意ヲ顯シタマフトコロニテ既ニ善導本願ヲ

釋スルニ三信ヲ略シテ稱名ノ行ノミヲ出シタマフ是ハ大行ニハ大信ニ離レ
サルカ故ニ三信ヲ十念ニ收ムル意ナリ爾レハ善導ノ稱我名號ノ行ニ
ハ三心ノ安心ハ固ヨリ具足セリ故ニ善導觀經ノ念佛衆生ヲ釋スニ親
縁ノ下ニ六憶念トアリ増上縁ノ下ニ六稱念トアリ故ニ今信行不離ヲ以
テ念聲是一ヲ顯スコト吾祖ノ私ニ非スト知ルヘシ 念ト聲トハヒトツ
コ、ロトハ念聲是一ト云コトナリ念ヲナシタル聲ナシトハ信ヲ離レタル
行ナシト云コト聲ヲハナシタル念ナシトハ行ヲ離レタル信ナシト云コト
ニテ他カノ大信大行ハ互ニ相離レサルコトヲ示ス以信行不離ノ相ハ
末燈鈔二十ニテ知ルヘシ

コノ文トモノコ、ロハオモフホトハマフサスヨカラシヒトニタツヌヘシフカキコト
ハコレニテモハカヲハセタマフヘシ 南无阿彌陀佛 一總持經會疏 一多證
文ノ終リモ是ト同シ勢ナリコノ文トモノコ、ロトハ前來所釋ノ如來

尊號甚分明ノ文以下所引ノ文ノ意ナリオモフホトハマフサストハ略釋ナ
ルコトヲ示シタマフヨカラシヒトニタツヌヘシトハ委シク知ラシト欲セハ
博識ノ人ニ尋ヌヘシト云コトナリフカキコトハコレニテハカラハセタマフ
ヘシトハ今書ノ辨勢略釋ナルヲ以テ深意ヲ盡サストイヘトモ此釋ヲ
以テ推測スヘシト云コトナリ南无阿彌陀佛ト尊號ヲ擧ケタマフ
ハ二部所明ノ法門ヲ尊號ニ結歸スル意ニテ上ノ大意ノ下ニテ辨シ
タル如ク此文意大科五段ニ分ルヘトイヘトモ唯念佛往生ノ本願ヲ深
ク信シテ名號ヲ稱スルヨリ外ナレ故ニ二部ノ所明歸スルトコロ大宇
ノ尊號ヨリ外ナキコトヲ示ス意ナリ

井ナカノヒトノノ文字ノコロモシラヌアサキ愚癡キハアリナキユヘヤス
クコロエサセトニオナレコトヲ名セテトリカヘシクカキツケタリコロア
ヒトハオカシクオモフヘシアサケリヲナスヘシカレトモオホカタソシ
リヲカハ
リニスヒトスチニオカナルモノヲコロエサセトテシルセルナリ正嘉元歲
丁八月十九日愚禿親爲八十五歳書之 第一政文 井ナカノヒトノ
寺トハ此奥書ニ多證文ト全ク同シコトナリ彼略述ニ辨シ置キタリ
正嘉元歲寺トハ建長二年ニ製成シタマヘルヲ重子テ清書遊ハサレタ
ル年月寺ナリ上來略シテ此唯信文意ヲ講シテリ

唯信鈔文意略述終

全 明治三十六年八月一日印刷
年八月五日發行

著作者 吉 谷 覺 壽



發行者
兼印刷

西村九郎右衛門

京都市下京區下珠數屋町
東洞院西八橋町八番戶

